

岡歯会報



巻頭言

「改革と公衆衛生活動」

〈p 1〉

第57回中国地区歯科医学大会～鳥取

〈p 10〉

異彩なこの人

「江戸東京散歩」

〈p 39〉

2006 *12* vol.719

岡山県歯科医師会



目 次

巻頭言 「医療構造改革や行財政改革がおよぼす公衆衛生活動への影響」	
……………岡山県歯科医師会 公衆衛生部担当理事 平岩 弘	1
平成 18 年度 岡山県保健衛生功労者表彰	2
Open the 理事会	2
岡山県警察歯科医会 警察歯科医会ブロック別研修会開催される！	9
第 57 回中国地区歯科医学大会	
中国地区歯科医師会役員連絡協議会	10
記念式典及び功労者表彰式	14
学術講演・一般講演	15
百周年記念実行委員会 「捜しています、昔の資料を」③	17
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (28)	18
社会保険部 都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会報告	21
平成 18 年度 第 7 回 社会保険部検討委員会報告	22
学術部 「マウスガードへの誘い・パートⅡを終えて」	23
平成 18 年度 岡山県歯科医師会「救急蘇生講習会」後記	25
報告	26
岡山県・岡山市歯科医師会共催 第 186 回岡山市歯科医師会臨床放談会報告	27
Book review	28
年末年始の休館のお知らせ	28
医療管理部 平成 18 年度 都道府県歯科医師会医療管理担当理事連絡協議会報告	29
医療広告について再認識を！！	30
医療管理 3 年計画“桃太郎プラン”講演会予告と実践モニターの募集について＜PartⅡ＞	31
公衆衛生部 介護予防・新予防給付における『口腔関連項目の参考例』	32
第 70 回 全国学校歯科保健研究大会報告	33
第 55 回 日本口腔衛生学会・総会報告	34
厚生部 文化事業部会 文化部 レクリエーション大会報告	35
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日（12 月・1 月）	36
支部モニター 倉敷・児島・玉島・都窪・吉備支部	37
都窪支部	38
異彩なこの人 高梁支部 妹尾 昌美先生	39
リレー随筆 「休日の過ごし方」 赤木 毅 都窪支部	42
同好会だより 第 2 回全日本歯科医師剣道選手権大会（第 7 回全歯剣道大会）	43
岡山県歯科衛生士会からのお知らせ	43
訃報	44
会員異動	44
事務局だより 12 月の収納金	45
10 月 会の動き	45
12 月・1 月 本会の予定	46
12 月・1 月 支部の予定	47
こちら編集室	47

<http://www.odanet.org>.

■題 字 岡山支部 三浦 晰 先生

■表紙写真 「湯原温泉」 岡山県観光連盟提供



「医療構造改革や行財政改革が およぼす公衆衛生活動への影響」

岡山県歯科医師会
公衆衛生部担当理事

平 岩 弘

平素より公衆衛生部の活動にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、国の医療制度改革が進む中、我々の周囲の環境も大きく変わりつつあります。

公衆衛生部が担当する領域では、国・県からの補助金廃止や見直しを余儀なくされており、本会だけでなく支部の事業への影響も懸念されます。事業関連では、本年4月より介護保険法と老人保健法の一部が改正され新予防給付事業と地域支援事業が新設され特定高齢者に対しての口腔機能向上プログラムが導入されました。日歯からの要請もあり、支部に受け皿を整備して頂くようお願いいたしましたが、認定基準のハードルが高すぎて高齢者の1%程度しか対象者が抽出出来ないのが現状のようです。また、平成20年からは、現行の老人保健法が廃止され、生活習慣病の中のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に的を絞り特定検診・特定保健指導を保険者に義務付ける事となりましたが歯科関連項目についての導入は見送られ、わずかに『糖尿病と歯周疾患』・『噛むことと肥満について』のリーフレットが保健指導の教材参考例として入るのみです。厚生労働省の説明では、『歯周病とメタボリックシンドロームとの間に関連があるとしても、歯科疾患の治療を行うことで全身疾患の医療費が改善するとか、歯周病検診や指導を行うことで医療費が改善することが検証されていない現状では取り入れることは出来ない』との事でした。なお、歯周疾患検診は一般高齢者施策として健康増進法等の中で従来通りの内容で実施する予定であるとの説明を受けております。

新しい制度が出来るとおおむね5年間は見直されませんので、従来にも増して個々の診療室での個人の状況に合わせたインフォームドコンセントに加え、ランチプロジェクトなどを活用した地域の実情に合わせ創意工夫した公衆衛生活動が必要となってくるのではないかと感じております。

本年度の主な公衆衛生部の事業としては、従来行なってきたものの他に学校歯科保健活動として研修会の開催、学校での講話用CDの活用。介護予防や口腔ケアに関する啓発およびリーフレットの作成・配布。岡山地区・倉敷地区でのイベント開催および協力。百周年記念品としての啓発用CDの作成等を予定しております。ご活用・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

平成18年度 岡山県保健衛生功労者表彰

岡山県知事表彰

中 塚 昌 伸 先生（児島支部）

10月30日(月)岡山市「メルパルクOKAYAMA」に於いて
平成18年度岡山県保健衛生功労者の表彰が行われ、先生は永年に亙り公衆衛生事業
に貢献されたご功績により受賞されました。
このたびのご受賞を衷心よりお喜び申し上げますと共に今後益々のご活躍をお祈り
申し上げます。

Open the 理事会

羅針盤

会 長 酒井 昭則



最近、教育基本法改正案について、メディアで大きく取り上げられています。戦後の占領下におけるGHQから押しつけられた制度自体が疲労を起し現在の社会に馴染まなくなっているのではないのでしょうか。大きな社会問題である高校履修科目の履修漏れやいじめ自殺は、こういった法律と社会の歪によって起こっているのかもしれない。

法律はあくまでも最低限の社会秩序を保つためのものと考えています。やはり倫理観、道德感が必要でしょう。法が時代によって、あるいは社会の成長と共に変わっていかなければ、今後も法の抜け道を探し利益を求めた村上ファンドやライブドアのような事件が起こるのかもしれません。「ルールさえ守れば……」というような風潮が社会に蔓延している雰囲気、もしかしたらこういった社会問題の要因になっているのかもしれない。

実態は良く分かりませんが、「美しい国」といった表現をされる総理による、何かを変えてゆこうとする姿勢は評価すべきであり、その手腕を注視したいと思っています。

平成18年度 第23回
平成18年10月5日(木)
19:00～21:18

1. 会長挨拶

領収証発行について、私の診療所では毎回発行を希望する人は現在一人もいない。治療が終了してからと言う人ばかりです。当分は様子を見て、半年～1年後にアンケート調査を行いデータを残し関係機関との折衝に活用したい。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 百周年記念式典・祝賀会委員会
9月29日(金)
- (2) 選挙規則改定特別委員会 9月30日(土)
- (3) 学術部救急蘇生講習会リハーサル
9月30日(土)
- (4) 学術部正・副委員長会 9月30日(土)
- (5) 文化事業部会レクリエーション(釣り)
10月1日(日)
- (6) 広報部編集委員会 10月2日(月)
- (7) 学術部委員会 10月2日(月)
- (8) 百周年記念誌・沿革誌(史)委員会
10月3日(火)
- (9) 総務部調査事業部会委員会 10月4日(水)
- (10) 百周年記念事業小委員会 10月4日(水)
- (11) 百周年記念誌・沿革誌(史)小委員会
10月4日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 都窪支部お口の健康8020フェア 10月1日(日)
- (2) 8020特別推進事業打合せ会 10月2日(月)
- (3) 県健康対策課と打合せ(8020推進特別事業)
10月3日(火)
- (4) テレビせとうちクリエイトと打合せ
10月4日(水)
- (5) 平成18年10月保険医療関係機関連絡会議

10月5日(木)

- (6) 警察歯科医会ブロック別研修会(倉敷)

10月5日(木)

〔学院報告〕

- (1) 学院規則・規程集改定委員会 9月29日(金)

3. 行事予定

本会行事	35件
学院行事	1件
国保組合行事	1件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 歯科技工士試験委員会の開催と派遣依頼について

承認

日 時 10月27日(金) 13:30～15:00

場 所 丸の内会館 203号室

- (2) 岡山県学校保健会第2回理事会ならびに表彰審査会の開催と出席依頼について

黒住副会長, 平岩理事, 恵谷委員長

日 時 11月7日(火) 14:00～15:30

場 所 岡山県岡山保健所 3階 会議室

- (3) 平成19年度岡山県予算編成に関する各種団体個別懇談会(陳情受理)開催の案内について

連盟対応

日 時 11月14日(火) 又は 15日(水)

いずれも13:00

場 所 県議会の関係委員会室

- (4) 御津支部より「いきいきライフフェスティバル」の開催と視察依頼について

会長対応

日 時 11月26日(日) 10:00～15:00

場 所 北ふれあいセンター

- (5) NPO法人救命おかやま(岡大 氏家教授)より「市民のための救命講習会」の開催と後援依頼について

承認

日 時 11月23日(木・祝) 10:00~15:30

場 所 岡山コンベンションセンター

2階 レセプションホール

〔検討事項〕

- (1) 第33回笠岡歯科技工専門学校歯科技工祭の開
催案内について

会長対応

日 時 10月29日(日) 10:00~16:00

場 所 笠岡歯科技工専門学校

- (2) 平成18年度社団法人日本学校歯科医会会長表
彰被表彰候補者の推薦について

締 切 12月22日(金)

- (3) マウスガードへの誘い・パートⅡ プログラム
(案) について

- (4) 平成16・17年度日歯生涯研修事業修了者・認
定者のHP公開に関する日歯の見解について

- (5) 第70回全国学校歯科保健研究大会前日懇親会
の開催ならびに同大会における役目の依頼に
ついて

○前日懇親会 出 席

○大会式典での感謝状受取 出 席

○全体協議会での前大会議決報告

出 席 大嶋専務

○議長団としての登壇 出 席

- (6) 会館使用申込みについて

承認

①日時 10月29日(日) 9:00~17:00

主催 大阪歯科大学同窓会(岡山市)

②日時 平成19年3月18日(日)

9:00~17:00

目的 卒業証書授与式

主催 岡山歯科技工専門学校

- (7) 基本健康診査時(理学的検査)の口腔関連診
査項目リーフレットについて

基本的に承認

- (8) 救急蘇生に関する備品購入について(ポケッ

トマスク, 小児人形の件)

承認

- (9) 岡山県警察歯科医会発足20周年記念式典関連
について【再掲】

承認

5. 閉 会(藤井副会長)

今日の視点(平岩 弘)

地域支援事業・新予防給付事業の中で口腔機能
向上サービスを受けるためには、医師による口腔
衛生状態診査とRSS T検査(唾液嚥下テスト)
が必須となっています。今回、医師会の先生方に
口腔についての認識を十分行って頂くことを目的
に公衆衛生部が『口腔関連診査項目に関するリー
フレット』を作成し医師会報に掲載して頂くこと
となりました。

平成18年度 第24回
平成18年10月12日(木)
19:00~20:45

1. 会長挨拶

経済財政諮問会議の委員に就任した八代 尚宏
氏(国際基督教大学教授)は、規制緩和の権化の
ような人です。特に医療の規制緩和の推進派の論
客です。注視して下さい。

2. 報 告

〔各部委員会〕

(1) 常務理事会 10月5日(木)

(2) 渉外部委員会 10月6日(金)

(3) 社会保険部検討委員会 10月7日(土)

(4) IT推進委員会慰労会 10月7日(土)

(5) 医療管理部正・副委員長会 10月10日(火)

(6) 広報部編集委員会 10月10日(火)

(7) 学術部正・副委員長会 10月10日(火)

(8) 百周年記念誌・沿革誌(史)小委員会

10月11日(水)

- (9) 広報部取材 (会長インタビュー)

10月12日(木)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 日本口腔衛生学会 10月7日(土)～8日(日)
(2) 岡山県介護保険関連団体協議会連絡会議

10月10日(火)

- (3) 都道府県歯科医師会地域保健・産業保健担当
理事連絡協議会 10月11日(水)
(4) 岡山県歯科保健優良校表彰等事前審査会

10月12日(木)

〔学院報告〕

- (1) 創立50周年記念式典準備委員会 10月10日(火)
記念講演・祝賀会
平成19年12月2日(日) 予定 プラザホテル

〔国保報告〕

- (1) 第3回理事会 10月10日(火)

〔その他〕

- (1) TVせとうちクリエイイトと打合せ
10月11日(水)
(2) コムパスとの面会 10月12日(木)
(3) 介護予防マンガ版 県庁より問題なしの回答
30,000部印刷 (平岩理事)
(4) 選挙規則改定委員会答申書配布 ご高覧の
上、次回理事会時に持参の上、ご意見を
(藤井副会長)
(5) 日歯生涯研修ライブラリー 19年3月に全会
員へ配布予定 (渡里理事)

3. 行事予定

本会行事 52件
学院行事 4件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会の開
催と出席依頼について
大嶋専務理事

日 時 11月21日(火) 13:00～16:30

場 所 新歯科医師会館 大会議室

(中医協の会長と大久保会長とのセッ
ション)

- (2) 都道府県歯科医師会事務長事務連絡会の開催
と派遣依頼について

高原

日 時 12月1日(金) 14:00

場 所 新歯科医師会館 大会議室

- (3) 岡山市歯科医師会より文化フォーラムの開催
と開会式での挨拶依頼について

酒井会長

日 時 11月3日 (金・祝)

12:50 (文化講演開会式)

場 所 岡山衛生会館 三木記念ホール

- (4) 平成18年度三大学 (大阪歯科大学・明海大
学・朝日大学) 役員懇話会の開催と臨席依頼
について

酒井会長

日 時 11月25日(土) 19:00

会 場 懐遊膳 藤ひろ

〔検討事項〕

- (1) 岡山県禁煙問題協議会の年会費の納入依頼に
ついて

承認

- (2) 平成18年度中国地区歯科医師会役員連絡協議
会並びに各協議会の各県協議題について

各部で対応

- (3) 調査事業部会より経営実態調査および会員意
識調査アンケート (案) について

- (4) 社団法人日本学校歯科医会会員対策に関する
アンケートについて

公衆対応

- (5) 社団法人日本学校歯科医会より「ブロックか
らの理事推薦」に伴う窓口加盟団体の選定に
ついて

中国地区協議題

- (6) 岡山県警察歯科医会発足20周年記念式典席次について

5. 閉 会 (黒住副会長)

今日の視点 (渡里浩明)

開会午後7時、報告19件、行事予定51件、協議事項12件、閉会11時。皆さん6時頃には診療をそこそこで切り上げて、車中でコンビニのおにぎりを頬張りながら駆けつけ、4時間もの会議。お疲れ様です。本格的なIT時代の中、本会事業もデータ化が進み、効率化と進捗率がUPし、各部の事業数、内容および事務量共に大幅に増加している。一方、溢れんばかりの情報の中から会員にとって有益で時宜を得たものを適切に取捨選択し、尚且つ各部が共有するためには対面による慎重な合議が不可欠である。この状況がこれからも継続する事は止むを得ないとしても、仕事とはいえ、事務方の体力が心配だ。理事会の思い切ったIT化システムへの前倒しの取り組みが必要な時期が来ているのではないのでしょうか。

平成18年度 第25回
平成18年10月26日(木)
19:00~22:37

1. 会長挨拶

寒くなってまいりましたので、体調には十分注意してください。警察歯科医会ブロック研修会の最後になる井原へ行ってきました。そこで感じたことですが、各事業には計画性と継続性を持って取り組んでいただきたい。反省点を是正し、打ち上げ花火で終わることなく定着するような外部との関係を構築してください。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 常務理事会 10月12日(木)
- (2) 救急蘇生講習会リハーサル 10月12日(木)
- (3) マウスガードへの誘いパートⅡ
10月14日(土)、15日(日)
- (4) 広報部編集委員会 10月17日(火)、19日(木)
- (5) 百周年記念事業小委員会 (倉敷)
10月20日(金)
- (6) 新入会員社保研修会 10月21日(土)
- (7) 文化事業部会レクリエーション大会 (麻雀)
10月21日(土)
- (8) 学術部救急蘇生講習会 10月22日(日)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 都道府県歯科医師会社会保険担当事連絡協議会 10月13日(金)
- (2) 社会保障研究会21第8回時局講演会
10月14日(土)
- (3) 県施設指導課と面会 10月18日(水)
- (4) 日本学校歯科医会全国大会懇親会
10月18日(水)
- (5) 警察歯科医会ブロック別研修会
10月18日(水)、19日(木)、26日(木)
- (6) 第70回全国学校歯科保健研究大会
10月19日(木)~20日(金)
- (7) 支払基金幹事会 10月23日(月)
- (8) 会務打合せ 10月23日(月)
- (9) 日本学校歯科医会「学校歯科医の活動指針」改訂版打合せ会 10月24日(火)
- (10) 歯科衛生士会と面会 10月24日(火)
- (11) 平成18年度広島国税局管内税務指導者協議会
10月25日(水)
- (12) 岡山大学大学院救急医学分野 氏家教授と面会
10月25日(水)
- (13) 日歯理事会 10月26日(木)
- (14) 岡山県歯科保健優良校表彰等審査会
10月26日(木)

- (15) 岡山大学歯学部予防歯科 山本先生と面会
10月26日(木)

〔学院報告〕

- (1) 学院規則・規程集の改定委員会
10月13日(金)
- (2) 移動教務会議 10月16日(月)
三年制移行の慰労 HP作成の片山先生に感謝状
- (3) 記念誌編纂委員会 10月18日(水)
- (4) 入試選考委員会 10月23日(月)

〔その他〕

- (1) 検死 9月19日(火), 22日(金), 23日(土・祝)
19日は勝田郡の山中で白骨死体, 22日は高梁市成羽で白骨死体, 23日は倉敷市川西町で変死体
- (2) 中国地区歯科医師会親睦野球大会前夜祭
10月14日(土)
- (3) 中国地区歯科医師会親睦野球大会
10月15日(日)

3. 行事予定

本会行事	53件
学院行事	5件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 平成18年度真庭支部第5回支部会(新年会)の開催と参加依頼について
全員出席を予定
日 時 平成19年1月11日(木) 17:30
場 所 岡本旅館
- (2) 児島歯科医師会より忘年会の開催と出席依頼について(9月21日理事会)
酒井会長, 大嶋専務 出席
日 時 12月9日(土) 18:30
場 所 倉敷シーサイドホテル
- (3) 都窪支部より忘年会の開催と出席依頼について
藤井副会長, 黒住副会長 出席

日 時 12月9日(土) 19:30
場 所 サンピーチOKAYAMA

- (4) 岡山歯科技工専門学校より岡技祭(技工祭)の開催と参観依頼について

祝電

日 時 10月29日(日) 9:00~16:00
場 所 岡山歯科技工専門学校

- (5) 第7回アジア予防歯科学会学術大会より大会前日の招待者のみの懇親会並びにオープニングセレモニーの開催と出席依頼について

懇親会に竹下理事出席 祝電

日 時 懇親会
11月28日(火) 18:30~20:30
セレモニー
11月29日(水) 9:00~9:45
場 所 懇親会 岡山ロイヤルホテル
セレモニー

岡山大学創立五十周年記念館

- (6) 大阪歯科大学岡山県同窓会平成18年度総会, 懇親会の開催と臨席依頼について(8月10日理事会で予告)

酒井会長 原連盟会長 出席

日 時 12月2日(土) 総会 17:00
懇親会 18:00

場 所 ホテルグランヴィア岡山

- (7) 第5回岡山医療訴訟連絡協議会の開催と出席依頼について

西田常務理事

日 時 11月29日(水) 16:30~18:30
場 所 サンピーチOKAYAMA
3階会議室(ピーチホール)

- (8) 玉野市歯科医師会より新年会の開催と臨席依頼について

三役予定

日 時 平成19年1月14日(日) 18:30
場 所 ダイヤモンド 瀬戸内マリンホテル

- (9) 歯誠会より『はぎわら誠司』国政報告会と忘年懇親会の開催と参加依頼について
三地区出席の為、欠席連盟からは秋田副会長出席

日 時 11月18日(土) 18:00

場 所 「よしまさ」

〔検討事項〕

- (1) 岡山市歯科医師会臨床放談会出席について
学術部対応
- (2) 調査事業部会より経営実態調査および会員意識調査アンケート（案）について
- (3) 平成18年度緊急薬品斡旋（案）について

原案通り

- (4) 岡山県警察歯科医会発足20周年記念式典について
本会関係出席者55～60名。懇親会席次表は次回理事会に提出

- (5) 入会申込について

承認

正会員 ^{むらかみ} 村上 ちはる （真庭支部）

- (6) 会館使用申込みについて

承認

日 時 平成19年3月10日(土)

19:00～21:00

主 催 松本歯科大学同窓会

- (7) 医療広告について
12月号会報（2ページ見開きで）
医療管理部桃太郎プラン・・・日歯コラムに原稿を書く。
- (8) 三地区歯科医師会役員連絡協議会協議題について
- (9) 三地区野球大会 19年 岡山県担当の協力について
（鈴木常務）
- (10) 摂食指導の実践とコミュニケーション研修会の開催について

公衆対応（蔵内委員長）

日 時 11月3日（金・祝）

10:00～16:00

場 所 岡山ふれあいセンター

- (11) 特定非営利活動法人NPO救命おかやま賛助
会員入会のお願いについて

賛助会員に入会承認

- (12) マウスガードへの誘い パートⅡ DVDについて
プレゼンテーションのDVD作成 全支部へ配布
- (13) 岡山大学大学院法務研究科『医療・福祉リーガルリスク予防研究センター』設立記念シンポジウムの開催と参加依頼について

平岩理事

日 時 10月28日(土) 13:00～16:30

場 所 岡山大学文化科学系総合研究棟2階
共同研究室

5. 閉 会（藤井副会長）

今日の視点（西田宜可）

先週は第70回全国学校歯科保健研究大会が千葉県で開催された為、2週間分の報告26、予定53、協議21各項目の膨大な内容。それに連盟・学院を加えて4時間に及ぶ理事会であった。小泉政権に於いて、医療改革法案が通過し、来年4月から実施される保健所の医療機関立ち入り等かなりの雑用に追われそうです。たとえば、ユニットの側にあるレントゲン装置・薬剤の管理状態・従業員の定期健診実施状況等々。多くの項目に対しての調査が行われます。保険改悪の次に来年は診療施設の混乱が起こる予感がして来ます。私のような開業20年以上の先生方には、また、難題ですね。（詳しくは医療管理にて後日報告をいたします）

警察歯科医会ブロック別研修会開催される！



9月28日午後、備前警察署に於いて警察歯科医会のブロック別の研修会が県警と備前・赤磐・瀬戸内の警察署の署員の方達と和気・赤磐・瀬戸内の歯科医師会のメンバーとで執り行われました。まず、県警の野上鑑識課長と警察歯科医会の的場理事の挨拶と全員の自己紹介があり、その後、県警鑑識課指導官の伊達警部による歯牙鑑定の要請及び現状についてお話がありました。その中で重要な三点を挙げられました。第一に相互連絡を密にすること。第二に歯牙鑑定時の連絡要領を確立しておくこと。第三に大規模事案に対して瞬時に対応できるようにすること。これらのことが大切であるという事です。ブロック研修会はできれば毎年一回は行いたいとのことでした。次に身元確認時の留意事項の説明とマニュアルによる研修がデンタルチャートを中心に行われ、実際の事例における解決に至った対応や問題点の提起などがありました。

それから松本理事の身元確認事例の発表がありました。それは近年の事例であったのでシビアなものでしたが、それぞれの事例での解決へのプロセスが丁寧に語られました。困難な事例の中ではひとつひとつの確認作業の積み重ねが大切だということが改めて思われました。今後、どのような事案が起こるかわかりませんが、如何に日頃の研鑽と努力が必要かということを痛感し、且つ、身元不明のご遺体に礼を尽くし、解決への糸口を探し出すということに誠意を持ってあたねばならないとの思いを強くし

ました。次いで質疑検討があり、その際、私も過去に経験した事例について簡単に説明しました。他にも種々の検討課題が出されましたが、身元不明遺体の検視に於いては警察と歯科医師会の綿密な協力体制の下で迅速で正確な対応が非常に大切であるということを再確認し、今回は閉会となりました。5ブロックの研修会を行い、149名の多くの

(警察歯科医会ブロック別研修会開催日時、場所)

開催日時	ブロック	開催場所	警察署別	歯科医会支部	出席者
9月28日(木) 午後3時	東 備	備 前 警 察 署	赤 磐 瀬 戸 内	赤 磐、瀬 戸 内、和 気	22名
10月5日(木) 午後3時	倉 敷	倉 敷 警 察 署	玉 野 児 島 倉 敷 水 玉 玉 島 津 口 島 津	倉 敷、児 島、玉 島 津 口	41名
10月18日(水) 午後3時	岡 山	岡 山 西 警 察 署	岡 山 東 岡 山 南 岡 山 北 岡 山 大 寺	岡 山、御 津	35名
10月19日(木) 午後3時	北 部	津 山 警 察 署	新 真 真 津 美 美	津 山、新 見、勝・英 真 庭	27名
10月26日(木) 午後3時	井 笠	井 原 警 察 署	笠 井 岡 原 高 梁	笠 井、岡 原、小 田、井 原 高 梁	24名

先生方のご参加を頂き誠にありがとうございました。来年度も企画を予定しておりますのでよろしくお願い致します。

(馬場正重)

第57回中国地区歯科医学大会

平成18年10月28日(土)、29日(日)の2日に亘り、第57回中国地区歯科医学大会が鳥取市に於いて開催された。28日はホテルニューオータニ鳥取にて、記念式典・功労者表彰式、ジャーナリストの櫻井よしこ先生による「今、日本が直面する内外の課題」という特別文化講演、その後に懇親会も催され交流を深め合った。29日は場所を鳥取県歯科医師会館に移し、顎関節症をメインテーマに学術講演、一般講演が行われ、盛況な大会であった。

また、大会に先立って28日午前10時より、中国地区歯科医師会役員連絡協議会及び広報、社会保険、学術、医療管理の各担当者連絡協議会が行われ、歯科界の活性化を願い、貴重な意見交換がなされた。

…… 中国地区歯科医師会役員連絡協議会 ……

岡山、鳥取、山口、島根、広島の5県歯及び日本歯科医師会から先生方が参加され、役員連絡協議会が後藤康裕専務理事の司会、樋口壽一郎鳥取県歯副会長の開会の辞によって開始された。

林 伸伍鳥取県歯会長の挨拶に続き、来賓として、大久保満男日歯会長、渡邊敏弘日歯連盟理事長の挨拶、続いて出席者紹介の後、議長に林鳥取県歯会長を選出した。その後、内山文博日歯専務理事より日本歯科医師会報告がされ、協議に移った。



□林 伸伍 鳥取県歯会長挨拶

政界も歯科界もリーダーが変われば状況は大きく変わる。厚生労働省との関係も修復がなされたと聞いている。歯科としては厚労省の言い分を一方的に聞くのではなく「言うべき事は言う」これが正しい関係改善であり、大いに意見を言い議論して行くことが重要である。この会議が有意義なものになるよう心から祈念したい。

□大久保満男 日歯会長挨拶

厚労省との関係改善においては、まず話し合いの土台を作るという点から始め、それは完成したと思う。

診療における文書提供も簡素化される見通しとなった。これも度重なる攻めと譲歩の議論、そして信頼関係の成果である。今後も先生方の現場の声をしっかりと伝えていきたい。

■ 協 議

1. 歯科医療保健に県民の声を反映させるための施策についてお伺いしたい。(島根県)

山口：県民公開講座等を行っている。

広島：歯科衛生連絡協議会にて行っている。

岡山：「ランチプロジェクト」として各市町村と連携し、行っている。

鳥取：口腔総合保健センターにて相談などを行っている。

2. 中国地区歯科医師連合会功労者表彰候補者の推薦員数について。(岡山県)

「人数に応じて増やしてもいいのでは」ということで岡山、山口各々4名と決定した。

3. 公益法人制度改革に対する基本的な考えについて日歯にお伺いしたい。(鳥取県)

「公益に関する事業を行い、かつ営利を目的としない」という理念を今一度徹底し、共済、年金などに関して検討して行きたい。

4. 日本学校歯科医師会のブロック推薦理事の選任について。(鳥取県)

会報に詳しく掲載したので参考にされたい。

5. 来年の参議院選挙における日歯連盟の対応について。(鳥取県)

FAX通信などを活用し、郡支部レベルで対応して行きたい。

6. 「中国歯科医療制度改善推進委員会」の存続について。(鳥取県)

「当初の目的は達成したと思われる」ということでこの場で「閉会」とされた。

7. レセプトの電算化とオンライン化のそれぞれの定義づけと、電算化に関して日歯が主体的に行っているかどうかについて説明戴きたい。(岡山県)

電算化とは紙出しのレセプトを数値化して出すというのが電算化で、オンライン化は光ファイバーなどで直接送り出すということで、2者は異なるものである。電算化に関してはまだ「歯式」の段階であるが、日歯としては紙出し以外の情報を与えないという方向で進めている。

以上について協議がなされた後、野坂百樹鳥取県歯副会長の閉会の辞にて終了した。

…… 広報担当者連絡協議会 ……

28日(土)午前10時より平成18年度第1回広報担当者連絡協議会が開催された。開会・挨拶の後、日本歯科医師会 小谷田宏常務理事より、日歯広報部の現状と今後の取組みの報告があり、各県への協力依頼も行われた。その後、9議題について、小谷田常務理事のコメントも戴きながら、歯科医師会への誤った認識の回復や国民への歯科医療の重要性をアピールするための方策について活発な討議がなされた。

時代の流れから、ホームページやオンライン化などIT推進による電子媒体の活用についての議題が多く、その有効な活用に大きな期待が感じられた。しかし、紙媒体による情報伝達についてもその必要性は欠くことはできず、如何にうまく共存させて活用するかが今後の鍵となろう。

…… 社会保険担当者連絡協議会 ……

日歯堀理事からの報告

- ・ 8月以降実施してきた事業内容及び厚労省との折衝について
- ・ 「全会員緊急アンケート調査」の報告書（中間報告）について
- ・ 「医学管理等情報提供文書」作成の経緯及びその内容について
- ・ 「医療費の内容の分かる領収証」への日歯としての対応について
- ・ 中医協特別調査の実施時期及び内容について

協議内容

- ・ 集団的個別指導及び個別指導の各県の選定基準について
- ・ 中国地区各県で情報交換・意見交換ができるシステムの構築について
- ・ 4月改定以降、各県での診療報酬の動向について
- ・ 各県の共同指導の実施状況について
- ・ 各県の歯科疾患総合指導料の算定状況について

窮状の打開に向けた日歯の前向きな姿勢、強い意気込みが感じられた。4月の改定で押し付けられた不合理な点については、その改善に向け緩めることなく厚労省と折衝にあたっていただきたい。

また中国五県の間でメールによるリアルタイムでの情報交換、意見交換の場が構築されたことは、お互いにとって非常に意義深いものになるであろう。

…… 学術担当者連絡協議会 ……

主な協議題は、日歯生涯研修セミナー、救急蘇生、マウスガードに関するものであり、活発な協議が終了時刻を超過してまで行われた。

1) 日歯生涯研修DVDセミナーに関して

開催方法やDVD配布方法の見直しをはじめ、生涯研修認定および修了者のHP検索法や表示の是正等について多くの意見が出た。これに対して、江里口日歯常務理事より今後の生涯研修事業のあり方について開催方法、地区、DVD収録方法やライブ版配信等も含めていろいろな方向を現在模索中であり、

H P 公表に関しても検討する旨、回答があった。

2) 救急蘇生講習会に関して

AEDの設置は各県とも急速に普及している。また、一部で救急協力医を育成したり、個人レベルでBLSの講習会に参加しているようだが、現状では本県のように継続して講習会を行っている所は少ないようである。矢尾、小川両先生のご尽力により学術部救急蘇生班インストラクター18名の全員がBLSより1ランク上のICLSを受講しており、他県と比較しても、より高度な実習が会員に対してできる環境になっていると感じた。

江里口常務からは、卒直後研修制度でも二次救命処置の習得が義務づけられている関係上、日歯会員の一層の研修努力が必要であり、安心・安全な歯科医療の提供のためにも各県の継続的開催に期待するとの見解が示された。

3) マウスガードに関して

先般、岡山県も「マウスガードへの誘い・パートⅡ」を無事終えたところだが、各県とも需要拡大のためにいろいろと努力をしているようだ。しかし、体育協会等の行政との折衝がうまくいかず、途中止めの所もあるのが現状のようだ。本県では、幸い行政との折衝もうまくいっており、今後は国民の関心を如何にうまく引き出すかに懸かっていると考えられる。これは常務理事にも伝えており、日歯に持ち帰り行政や国民へのPRに関して前向きに協議するとのことであった。

以上、各県同じようなことで悩んでおり、そのため白熱した議論となり、あっという間に2時間がたち、本当に有意義な協議会であったと思う。救急蘇生やマウスガードに関しては、今後も本会会員が社会的責任を果たすための一助となるように本会としても継続的に取り組んでいく必要があると強く感じた。

…… 医療管理担当者連絡協議会 ……

1. 報 告

太田謙司日歯常務理事が、次の内容について報告した。

- ・ 歯科医師養成数の削減について
- ・ 医療安全対策について 第5次医療法改正に対する対応について
- ・ 無資格者（歯科助手）の歯科診療行為の問題について

2. 協 議

各県より提出された協議題について協議、意見交換が行なわれた。その主なものは次の通りである。

- ・ デンタルスタッフへの教育、講習会の状況について

- ・個人情報保護法によるトラブル発生状況などについて
- ・人材確保のためのハローワークとの連携について
- ・歯科医院経営に関する会員へのアドバイスや講演などについて
- ・医療安全対策事業に関する事業展開について
- ・一人医療法人の解散した歯科医療機関数について
- ・歯科医療機関に対する保健所立入検査状況について

鳥根県などではすでに全歯科医療機関が立入検査を受けているとの報告があった。平成19年4月から第5次医療法が施行されるのに伴い、各県において歯科医療機関に対する保健所立入検査が確実に実施されるとのコメントが太田謙司日歯常務理事よりあった。

…… 記念式典及び功労者表彰式 ……

各協議会に続き、28日13時30分よりホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」にて執り行われた。

樋口壽一郎大会副委員長の開式の辞に始まり、ついで物故会員に黙祷を捧げた。

そして林 伸伍大会委員長が「今後ますます地域医療と歯科医師会の発展のためにご尽力戴く事をお願いします」と式辞を述べられた。

続いて大久保満男日歯会長代理として堤 直文副会長、鳥取県知事代理、竹内 功鳥取市長による祝辞があり、来賓紹介、祝電披露がなされた。

功労者表彰式では、岡山県から越宗芳彦先生（児島支部）、奥 欽也先生（津山支部）、栗坂俊朗先生（都窪支部）が多年に亘る歯科医師会及び歯科医療の発展向上に寄与された業績に対し表彰状が授与され記念品が贈呈された。

引き続き次期開催県会長である宇田信行山口県歯会長の挨拶、野坂百樹鳥取県歯副会長による閉式の辞により、式は滞りなく全て終了した。



学術講演・一般講演

29日(日)は岡山大学大学院医歯薬総合研究科の窪木拓男教授による学術講演と中国5県の会員の一般講演があったので以下概要を報告いたします。

■ 学術講演 ■

「臨床エビデンスに基づく顎関節症の診断と治療」—口腔顔面痛や口腔運動器疾患を治療する

立場から—というテーマで窪木拓男教授が基本から最新の考え方までを以下の如く明快に述べられた。

顎関節症とは、顎関節や咀嚼筋の痛み・機能障害を主徴候とする包括診断名であり、その有症候者率の高さから歯科医にとって避けて通れない疾患である。

かなりの部分の顎関節症は進行性であるとはいえない（self-limiting）と認識されるようになり、各々の病態における治療法の効果が再検討され、経過良好群では過剰治療を防ぎ、難症例では積極的に医療資源を投入する個別医療へのシフトが望まれるようになった。

一方、我々は通常の保存療法が奏功しない重度変形性顎関節症や難治性、慢性筋痛の病態解明ならびに新規治療法の開発を目指してきた。このような難症例では、さらに更年期障害などの内分泌疾患、精神心理学的問題、各種運動器疾患など、顎口腔系の症状を修飾する全身疾患の知識、及び抗うつ剤や抗不安薬などの臨床薬理学的知識が不可欠である。千差万別な顎関節症患者を、地域のプライマリケア医療機関と病診連携を促進する中核病院が如何に共同してケアできるかが重要である。（抄録抜粋）

■ 一般講演 ■

本会からは、倉敷支部の近藤康弘先生が「咬合再構成を必要とした矯正治療後の顎関節症（TMD）患者の、23年後の経過から学べた事」という演題で発表された。

23年前、先生は岡山大学歯学部附属病院第一補綴科に在籍中、顎関節規格写真、下顎運動分析装置で正確にデータを記録し、正しい診断の上での咬合再構成を行われ、その後、開業されてからも経過をフォローアップされた。症例の結果と考察において、顎機能における予後は正しい診断とより適切な咬合を与えることが重要な要素であると強調された。

また、我々開業医にとって顎関節症の分類とその鑑別診断を把握しておくことはとても大切であり、そのために何をなすべきかを以下の様に示された。



発表要旨

初診時、矯正治療後の咬頭嵌合位と筋肉位とが大きくずれていた左側間欠性ロック患者に、筋肉位で咬合を再構成し症状の緩快をみることができた。また、現在まで23年間治療経過を追うことができた。その結果、筋肉位を基準とした咬合再構成は長期間正常な機能を維持していた。

筋肉位を基準とした咬合再構成は、生体にとって無理がない下顎位であると同時に、咬合とTMDは咬合異常の原因によっては大きな関連性があることを示唆していると考えている。

さらに咬合再構成に際し接着技法を応用し支台歯の侵襲を極力おさえることも、安定した治療結果に繋がったと考えている。

顎関節症の症型分類と鑑別診断

I 型：咀嚼筋障害を主訴としたもの——筋肉部持続的鈍痛

II 型：円板後部組織・関節包・靭帯の慢性外傷性病変を主徴候としたもの——関節部機能痛・開口障害

III 型：間接円板障害——骨変化画像所見なし

III 型a：復位を伴う円板転位——クリッキング音・関節部機能痛

III 型b：復位を伴わない円板転位・クローズドロック——クリッキング音の既往・突発性開口障害

IV 型（変形性顎関節症）：骨変形を主徴候としたもの——骨変化画像所見・クレピタス

関節部機能痛・開口障害

V 型：その他、以上のいずれにも分類されないもの

一般臨床医としてTMD患者へ取り組む際に重視していること

1. 病診連携に基づいた取り組み
2. 病診連携先の確保とそれぞれの対応状況の把握
3. 自院での診断（鑑別診断）と治療基準の明確化
4. 経時的フォローと情報の保存
5. 生活習慣の把握と日常でのアドバイス



おわりに

今回のメインテーマが「顎関節症」ということで顎機能運動を分析する装置を用いての発表もあったが、今後、より客観的な顎関節の病態の把握と記録が必要とされること、鑑別診断の重要性、適時高次医療機関への紹介が大切であると感じられた。また、顎関節症に対する上関節腔洗浄法についての発表が2題あり時には口腔外科的な処置も効果的ではないかと思われた。

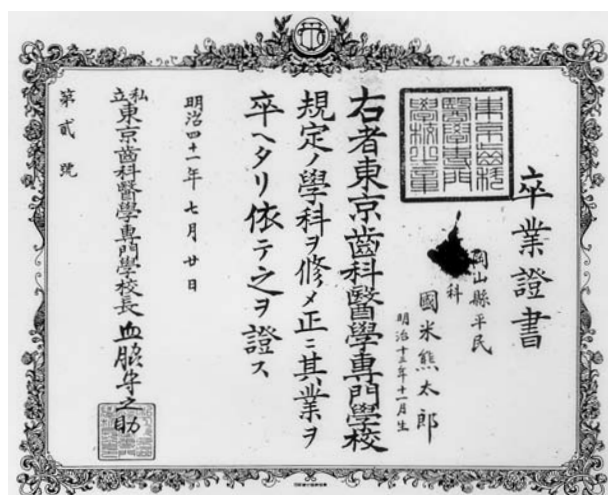
（清水裕雄）

100th anniversary
 探しています
 昔の資料を

3

ダンディ髭に角帽の大学生

堂々たるコールマン髭に学生服・角帽。明治時代の典型的な歯科医学生のスタイルです。付属病院で外来患者の実習中の学生（写真下）にも髭姿が多く見られます。穏やかな表情の國米熊太郎先生は、明治13年真庭郡久世町の生れで当時27歳、東京歯科医学専門学校卒業を前に写したアルバム中の勇姿です。明治40年9月、東京歯科医学校は専門学校に昇格し、4年後の卒業生からは無試験で開業することが認可されました。しかし、國米先生が卒業した明治41年7月はちょうどその端境期で学説試験、実地試験と2つの受験をされ見事合格、直ちに帰郷して久世町で開業されました。大正12年には美作五郡歯科医師会の副会長になられ、謡曲・魚釣りを楽しみながら美作地域の医療に貢献されました。



東京歯科医学専門学校在学中の國米熊太郎先生



付属病院診療実習中（明治30年代）

—— 探しています ——

岡山県歯科医師会設立百周年記念誌を目下編纂中です。戦時中に歯科開業医の先生に召集令状（赤紙）が来て、余儀無く出征。自院前、玄関先での記念写真はないでしょうか？ また、その様な先生をご存知ないでしょうか？ 何卒ご一報下さい。

連絡先：岡山県歯科医師会

TEL 086-224-1255 係 草場

Monthly Dental News Review (28)

平成18年

10月11日(水) ▶ 一四国地区歯が調査分析ー

18年度改定 軒並み大幅減少傾向

四国地区(徳島, 香川, 愛媛, 高知) 歯科医師会は平成18年4月診療報酬改定による
対前年同月比との分析結果を
公表

1 医療機関当たり						※単純平均
	全体平均点					
	4月		5月		6月	
	17年	18年	17年	18年	17年	18年
四国平均	1,507.0	1,424.6	1,448.3	1,410.7	1,475.2	1,418.2
徳島	1,571.4	1,470.0	1,515.8	1,508.7	1,554.3	1,497.1
香川	1,544.5	1,452.5	1,459.4	1,418.9	1,501.7	1,441.3
愛媛	1,408.3	1,350.5	1,372.4	1,300.8	1,378.5	1,324.0
高知	1,503.6	1,425.6	1,445.7	1,414.3	1,466.4	1,410.2

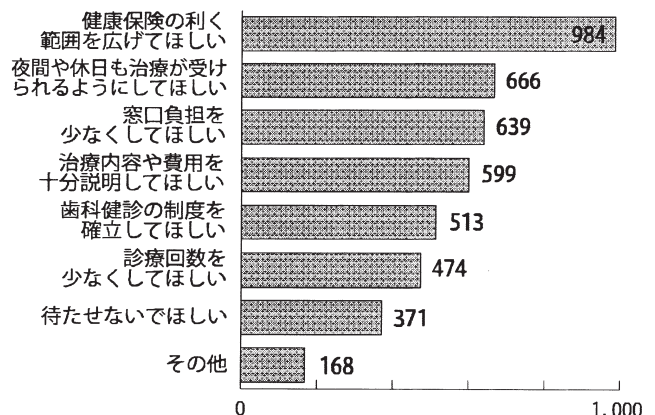
ー患者の歯科医療による要望ー

「保険の範囲広げて」が8割

……「保険で良い歯科医療を」

全国連絡会が調査

歯科医療への要望 (複数回答)



13日(金) ▶ 平成17年度 フッ化物洗口『全国497郡市区町村で実施…日歯, 地域・産業保健委調査』

地域歯科保健の現況のフッ化物応用(平成17年度の実績)・中国地区抜粋

都道府県歯会	フッ化物歯面塗布			フッ化物洗口			
	実施した郡市区町村数	把握していない	その他	郡市区町村数	施設数	実施人数	把握していない
岡山	20			1	9		
鳥取	15			2	8	179	
広島		○					○
島根	44			11	108	6,084	
山口		○		13	179	21,620	

17日(火) ▶ 支払確定金額 歯科は1000万～2000万が3割強

支払基金17年度診療分 1件当たり点数2.4%減

17日(火)

歯科医療機関数の年次推移（病院含む）

医療機関別	9年5月	14年度	15年度	16年度	17年度
年次推移(指数)	100.0	107.8	109.1	110.3	111.6
1 医療機関当たり診療件数(件)	151	127	123	125	126
1 医療機関当たり診療件数(指数)	100.0	84.6	81.8	82.8	83.3
1 医療機関当たり診療点数(千点)	222	180	169	165	162
1 医療機関当たり診療点数(指数)	100.0	81.1	76.1	74.7	73.3

(注)「14～17年度」は、1カ月当たりの平均値である。

支払確定額の金額階級別
医療機関数（診療所）

金額階級別	医科診療	歯科診療
医療機関合計	92,700	72,005
万円未満		
～ 100	6,232	4,818
100～ 500	9,823	12,003
500～1,000	10,227	16,398
1,000～2,000	19,159	24,990
2,000～3,000	15,821	9,124
3,000～4,000	10,758	2,765
4,000～5,000	7,135	1,018
5,000～6,000	4,336	421
6,000～7,000	2,804	216
7,000～8,000	1,776	99
8,000～9,000	1,152	45
9,000～1億円	731	41
1億円～2億円	2,171	56
2億円～3億円	368	9
3億円～4億円	126	2
4億円～5億円	40	—
5億円以上	41	—
平均支払額	千円 28,669	千円 13,050

歯科診療の1件当たり点数の都道府県別で最も高いのは北海道の1618点、逆に最も低いのは滋賀の1115点、その差は1.5となっている。

19日(木) ▶海外技工物「歯科技工士法に逸脱しない」

……厚労省 大久保議員の質問で見解

23日(月) ▶「領収証」発行6割が要求

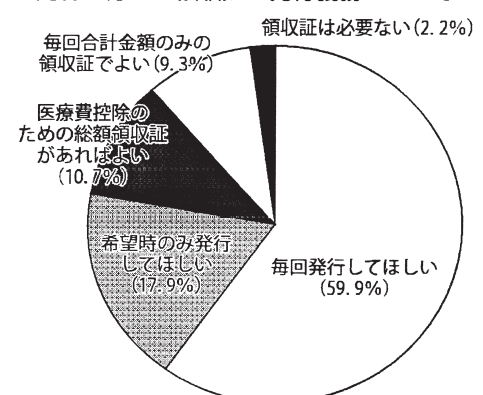
……京都府歯がアンケート

都道府県別	都道府県別歯科診療率			都道府県別歯科診療所の諸率		
	1件当たり 点数	1件当たり 日数	1日当たり 点数	1医療機関 当たり 診療件数	1件当たり 点数	1医療機関 当たり 診療点数
全国	1,294	2.2	589	124	1,288	159,915
北海道	1,618	2.4	661	105	1,615	168,864
青森	1,447	2.5	589	118	1,428	168,929
岩手	1,352	2.1	631	131	1,353	176,679
宮城	1,233	2.1	577	142	1,228	174,526
秋田	1,459	2.3	642	131	1,454	189,968
山形	1,159	2.0	587	165	1,145	189,322
福島	1,301	2.3	559	131	1,294	170,137
茨城	1,203	2.2	555	131	1,199	157,523
栃木	1,217	2.2	560	134	1,194	159,986
群馬	1,166	2.3	516	132	1,161	152,908
埼玉	1,200	2.2	550	135	1,200	161,517
千葉	1,260	2.1	589	126	1,254	158,363
東京	1,286	2.2	584	96	1,287	124,053
神奈川	1,320	2.2	612	125	1,321	164,997
新潟	1,290	2.2	598	124	1,291	160,563
富山	1,221	2.2	567	150	1,207	180,477
石川	1,346	2.3	598	141	1,331	188,225
福井	1,279	2.1	598	158	1,244	196,288
山梨	1,318	2.2	590	117	1,311	152,873
長野	1,159	2.1	547	127	1,150	146,320
岐阜	1,153	2.0	579	156	1,134	176,304
静岡	1,221	2.1	585	146	1,206	176,565
愛知	1,185	2.0	587	154	1,169	180,408
三重	1,192	2.0	582	144	1,180	170,108
滋賀	1,115	2.0	546	174	1,091	190,389
京都	1,183	2.1	556	131	1,173	153,284
大阪	1,384	2.2	617	122	1,379	168,268
兵庫	1,277	2.1	612	132	1,262	166,380
奈良	1,184	2.1	568	136	1,181	160,460
和歌山	1,330	2.2	598	103	1,320	135,328
鳥取	1,299	2.1	607	147	1,280	187,718
島根	1,318	2.2	608	138	1,302	180,163
岡山	1,223	2.0	599	139	1,226	170,499
広島	1,374	2.2	619	124	1,376	171,112
山口	1,300	2.3	574	131	1,297	170,407
徳島	1,410	2.2	632	114	1,429	163,282
香川	1,376	2.2	622	141	1,361	191,420
愛媛	1,234	2.2	551	128	1,228	157,139
高知	1,318	2.2	603	119	1,304	154,856
福岡	1,467	2.5	578	112	1,463	164,058
佐賀	1,360	2.4	565	129	1,343	173,184
長崎	1,286	2.2	583	119	1,285	153,226
熊本	1,318	2.4	539	115	1,312	151,399
大分	1,417	2.4	586	115	1,402	161,106
宮崎	1,394	2.5	561	111	1,372	152,023
鹿児島	1,305	2.5	524	115	1,296	149,103
沖縄	1,450	2.3	623	107	1,435	153,207

(注)1カ月当たりの平均値である。

「どのような補てつ物等を用いるかは個別の事例に応じて歯科医師により適切に判断されるべきもの」

内容の分かる領収証の発行義務について



24日(火) ▶疾病予防処置に該当か否か 最終判断は「厚労省」

歯科衛生士のスケーリング、ルートプレーニングで櫻井議員が質問

問 歯科衛生士がスケーリング及びルートプレーニングを行うことについては、診療現場において歯科医師の判断に任せられると考えてよいのか。つまり、歯科医師の責任の下に歯科医師の指導により、歯科衛生士がスケーリング及びルートプレーニングを行えるとの認識であるのか。また、「個々の行為の態様に応じ個別具体的に判断する必要がある」との答弁があるが、具体的に誰がいつ判断するのか。それぞれ政府の見解を明らかにされたい。 答 スケーリング及びルートプレーニングが、歯科衛生士法(昭和二十三年法律第二百四号)第二条第一項の歯牙及び口腔の疾患の予防処置又は同条第二項の歯科診療の補助(以下「疾病予防処置等」という。)に該当する場合には、歯科衛生士がこれらの行為を行うことは可能であるが、これについては、個々の行為の態様に応じ個別具体的に判断する必要がある。また、個々の行為が疾病予防処置等に該当するか否かについて、歯科衛生士法を所管する省庁として最終的に判断するのは、厚生労働省である。

27日(金) ▶研究機関の設置 日歯単独の方針ある……予算規模は4500万円

大久保日歯会長は日歯の事業支援のための調査、研究、分析を目的とした研究機関の設置で、日歯単独での設立の意向を明らかにした。

30日(月) ▶後期高齢者制度「健康寿命伸ばすのが役割」大久保日歯会長が基本的考え示唆

「食べることを通して、国民の健康維持増進に寄与することが我々の使命だと考える」

11月 2日(木) ▶藍綬褒章 歯科は2氏 内山文博氏(東京)・吉本一馬氏(兵庫)

6日(月) ▶秋の叙勲 歯科は厚労、文科省で22人

▶18年7月診療分

診療種別支払確定件数及び金額

(18年7月診療分)

診療種別支払確定件数及び金額

診療種別		件数	対前年 同月比	構成 割合	金額	対前年 同月比	構成 割合
		千件	%	%	百万円	%	%
総計		69,830	102.6	100.0	851,270	99.7	100.0
医科	計	41,165	101.4	59.0	630,457	99.9	74.1
	入院外	986	99.9	1.4	293,034	100.7	34.4
歯科		40,179	101.4	57.5	337,423	99.2	39.6
調剤		9,132	102.6	13.1	82,829	97.9	9.7
食事療養費		19,505	105.4	27.9	119,970	103.3	14.1
訪問看護療養費		(891)	98.7	—	16,800	79.5	2.0
訪問看護療養費		28	96.4	0.0	1,214	112.4	0.1

(注)総計の件数は、食事療養費を除く数値である。

8日(水) ▶「いい歯の日」の11月8日

今年笑顔が最も印象に残った有名人に贈られる

「2006ベストスマイルオブザイヤー」(日歯主催・ロッテ協賛)に女優の黒木瞳さんとハンマー投げ選手の室伏広治さんが選ばれた。

表彰式で黒木さんは

「笑顔に歯の健康は欠かせない」と…

ベストスマイルオブザイヤー
歴代受賞者 (敬称略)

1 (1993)	伊達公子	布施 博
2 (1994)	田中真紀子	イチロー
3 (1995)	田村亮子	川口能活
4 (1996)	有森裕子	十文字貴信
5 (1997)	平木理化	佐々木主浩
6 (1998)	深田恭子	清水宏保
7 (1999)	茂森あゆみ	王 貞治
8 (2000)	田島寧子	瀧本 誠
9 (2001)	国仲涼子	石原伸晃
10 (2002)	鈴木 杏	丸山茂樹
2003年	伊東美咲	永井 大
2005年	上戸 彩	武 豊

都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会報告

平成18年10月13日(金) 日本歯科医師会館

1. 報 告

・日歯改革プロジェクトについて、以下の5つの委員会・チームを置く。

- 1) 機構改革検討委員会
- 2) IT化推進委員会
- 3) 国民へのアピール推進チーム
- 4) 歯科保健医療ビジョン検討チーム
- 5) 研究機関設立準備委員会

内山専務理事

・レセプトオンライン化に関する現時点での日歯の考え方について、傷病名コード化は今年度中にはメドをつけたい。

近藤副会長

・歯科医療協議会において、診療ガイドラインの見直し、診療技術評価、機械、器具の開発等を行いたい。

黒崎中医協委員

2. 連絡・協議事項

- ・2万3,400余のアンケートと今回の438件の意見をまとめて厚労省と折衝を重ねていきたい。
- ・中医協診療報酬改定結果検証部会による調査および歯科医業経営実態調査にご協力をお願いしたい。
- ・保険外併用療養について十分な検討を行いたい。
- ・今回の改定による影響は休日数補正等も行い、4・5月分で約-3.5%、病院歯科においては外来で-7.5%となっている。
- ・アンケート調査より都道府県あるいは診療所によって影響の差がかなりある。
- ・後期高齢者医療制度は平成20年4月より診療報酬についても施行予定。

渡辺常務理事

質疑応答では

Q：今回の改定では学問的に不備な部分もみられるが。

A：旧執行部との引継ぎの時に驚いたが、今後は事前によく研究して対応したい。

Q：共同指導で歯周治療後の確認検査なしで補綴治療が始まっているのを査定されたが。

A：主訴の改善も必要と思うが、歯周病ガイドラインの見直しも考える。

Q：日歯で作成している文書では要件を満たしていないとの指導があったが。

A：学会と相談して妥当なものを作ることも考えているが、行政側にも納得してもらわないといけない。

以上、種々の問題点について解説がなされたが、次回の改定に反映させて頂きたいものである。

(理事 小林清司)

平成18年度 第7回
社会保険部検討委員会報告

平成18年10月7日(土) 15:00~18:30

1. 報告

- | | | |
|-----------------------|-----------|----------------------------------|
| 1) 9月新入会員：1名 | | |
| 2) 社会保険指導者研修会 | 9月12日(火) | 大島・伊丹・小林・松三・佐藤・後藤・西岡 |
| 3) 「訪問診療・介護保険講習会」小委員会 | 9月14日(木) | 武用・中西・石井・石戸・皆木・伊丹・小林
松三・佐藤・西岡 |
| 4) 指定更新集団指導 | 9月21日(木) | 立会い 小林 |
| 5) 支払基金幹事会 | 9月25日(月) | 酒井会長 |
| 7月診療分 | | |
| 前年同月比 | 点数：100.5% | 件数：103.4% |
| 前月比 | 点数：97.1% | 件数：96.8% |
| 6) 岡山地方社会保険医療協議会 | 9月26日(火) | 伊丹 |
| 7) マウスガード講習会打ち合わせ | 10月2日(月) | 佐藤・田頭・友澤・小野・橋本・清水・石戸
皆木・小林・西岡 |
| 8) 社保相談窓口報告 | | |

2. 行事予定

- | | | | | |
|----------------------------------|-----------|----------|----|-------|
| 1) 保険医療関係機関連絡会議 | 10月5日(木) | 小林 | | |
| 2) 都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会 | | | | |
| | 10月13日(火) | 伊丹・小林 | | |
| 3) マウスガード講習会 | 10月14日(土) | 津山 石戸・皆木 | 岡山 | 友澤 |
| | 10月15日(日) | 岡山 田頭・小野 | 倉敷 | 橋本・清水 |
| 4) 新入会員社保研修会 | 10月21日(土) | 18:00～ | | |
| 5) 平成18年度中国地区歯科医師会第1回社会保険担当連絡協議会 | | | | |
| | 10月28日(土) | 伊丹・西岡・松三 | | |
| 6) 第8回検討委員会 | 11月4日(土) | 15:00～ | | |

3. 協 議

- 1) 新入会員社保研修会について
- 2) 会員にとって有益と思われる情報について
- 3) 支部からの質問について
- 4) 支払基金9月審査について
- 5) 国保9月審査について
- 6) 「訪問診療・介護保険講習会」の進捗状況と今後の予定について

4. 基金における請求・審査の現状と今後の指針について

大島 道雄 支払基金専任審査委員が「診療請求を考える―低迷からの脱却―」と題して、岡山県が社保1件あたりの点数において中国5県の中で最下位であることについて、その打開策を詳細に述べられた。

「マウスガードへの誘い・パートⅡを終えて」



津山会場実習風景

今回はマウスガードの種類の中でも「吸引式単層法：vacuum custom made」による作製法を取り上げ、これだけは押さえておきたいというポイントをスライドと動画を用いて、10月14日に津山会場、15日に岡山会場で講演させていただきました。受講された先生方の中には「マウスガードは初めて」といわれる方も多く、メモを取りながらの真剣な表情が見受けられました。また既にマウスガードに精通されている

先生もおられ、加圧式との違いや装着時の問題点などの質問もありました。保険への応用の部分では、社会保険部との事前の摺り合わせが功を奏し、とても分かり易くお伝えできたと思います。

また、各会場支部の先生方の多大なご支援ご協力のお陰で、同時に2会場で開催することが出来ました。準備には万全を期したつもりでしたが、実習ではEVAシートの軟化失敗や冷却スプレーによる小爆発などのトラブルもありました。しかし、幸い大きな問題もなく、最後にはご自身で作られたマウスガードを自らの口腔内へ入れて、その装着感や適合性に皆さん満足そうな笑顔で終わることが出来ました。

今後は、各医院でのマウスガードのPRはもちろんのこと、県歯レベルでのマウスガードの普及活動も重要ではないでしょうか。

(大上宏己)

今回のセミナーは、より実践的な内容になるようスライドとビデオによるプレゼンテーションに加えて実際の作製実習の2本立てで企画されました。

特に、歯科において熱可塑性樹脂の導入は一部にされていたものの、先生方が直接熱可塑性樹脂を加工することはほとんどなかったように思います。最近、スポーツマウスガードに利用されているEVAは、軟性熱可塑性樹脂の中でも最も汎用タイプのもので、その成型法は成形器さえあれば比較的簡単に行えることが実習を通じて体験して頂けたのではないのでしょうか。

また、今回はこれに加えて軟性樹脂だけでなく硬質熱可塑性樹脂（ポリカーボネート、PET等）を利用した様々な保険診療への応用法もご紹介させていただきました。この両者を有効に利用すれば効率的に診療の幅を広げることも期待されます。

特に、ナイトガード、咬合挙上副子、スリープスプリントあるいは止血シーネ等については社会保険部



倉敷会場実習風景

の先生方に算定用件について解説していただきました。

今後も、学術部の方向性として会員の先生方に各方面で様々な新しい取り組みが行われようとする際には、より実践的な内容がお伝えできるようなセミナーを委員会で企画して参りたいと思います。是非とも、積極的にご参加いただければと期待しています。

(近藤康弘)

「まとめ」

本会では、日本プライマリ・ケア学会岡山県支部会に於ける2年連続のマウスガードの口演発表、昨年の全国障害者スポーツ大会で知的障害者バスケットボール選手団に対するマウスガード作製と装着のボランティア活動を通じてマウスガードの普及・啓発並びに歯科医師会としての社会貢献に努めてまいりました。

そして、今年度は「マウスガードへの誘い」と題して、会員向けの講演会・講習・体験実習と一連のものを企画しました。

まず、9月9日にマウスガードでは第一人者の杉山義祥先生に「健康はスポーツから、スポーツは歯から」と題して講演をしていただき、その概論に触れました。(約350名の参加)

次に、その応用・ハウツー編として10月14日、15日の両日、「カスタムメイドタイプの作製法の要点とその他保険診療への応用について」と題して講習と実習を県下3ヶ所、6回に分けて開催し、約250名の参加がありました。

今年度からは、高校ラグビーにもマウスガード装着が義務化されました。その影響か、多くの先生方の参加があり、社会、時代の要求の現われだと感じました。

さらに、今回は会員の先生方の数々の生の声を聞くことができました。「マウスガードの他にも保険の止血シーネにも、応用できるのか!」「吸引形成器は持っていたがあまり使わずに埃を被っていたけど、色々保険診療にも応用できるぞ。」「今まで技工士任せだったが、自分でやってみると案外簡単にできるなー。」等々でした。

学術部委員がそれぞれ講師を務める形の手作りの講習会のため、不手際や至らぬことも多々あったかと存じますが、様々なご意見、ご希望をお聞かせいただき本当に感謝申し上げます。

今後どれだけの需要が見込めるかは不確定ですが、何よりも患者さんのために、そして安全で楽しくスポーツをしてもらうためにも、臨床現場に於いて会員一人一人が普及・啓発に取り組んで頂ければ幸いです。

(毛利行雄)



岡山会場実習風景



岡山会場 社保講師講義風景

平成18年度岡山県歯科医師会「救急蘇生講習会」後記



去る10月22日(日)に標記講習会が「あなたもなれる！命の恩人。救急蘇生法のイロハ教えます」と題して開催された。

渡里浩明理事の司会進行の下で開会に先立ち酒井昭則会長の挨拶が行われた。

第1部の小川克昌先生（学術部救急蘇生講習班インストラクター）の講演内容は、会員・スタッフ・ご家族を対象として、動画を交えた大変分かり易く丁寧なものでした。

く丁寧なものでした。

突然の心停止に襲われた人を救命するためには、下記の①～④を正しく、素早く、そして繋がって行なわれることが必要である。

- ①「迅速な通報」反応が無い人を見つけたら直ちに119番通報する。
- ②「迅速な心肺蘇生」救急の現場にいる人が行なう。
- ③「迅速な除細動」AED（自動体外式除細動器）で電気ショックを行なう。
- ④救急救命士や医師による高度な「二次救命処置」を行なう。

①～③は救急の現場にいる人によって行なわれることが期待される。この中でも心肺蘇生の重要性を強調されていた。

口対口人工呼吸の要点は、a：胸が上がるの見えるまで

b：約1秒間かけて吹き込む

c：吹き込みは2回

胸骨圧迫の要点は、

a：胸の真ん中（乳頭と乳頭を結ぶ線の真ん中）

b：強く（胸が4～5cm程度沈むまで）

c：速く（1分間に約100回のテンポで）

d：絶え間なく（30回連続で）

e：圧迫は1回ごとに完全に解除する

さらに、気道異物除去、小児、乳児の一次救命処置についての手順と年齢別比較を解説された。



後半はAED使用のデモンストレーションが行なわれ、参加者には間近で見学することができ、リア

ルタイムのビデオ撮影により、スクリーンに大きく映写され大変分かりやすいものであった。最後に藤井龍平副会長の挨拶で第1部の講演が閉会した。

第2部は新しい救急蘇生法ガイドライン2005に沿った会員対象の実習であった。

第1ブースはAED、体位変換

第2ブースはBLS（1次救命処置）

第3ブースは小児のBLS、気管挿管、血管確保、血圧測定という順番で、18名の先生方が真剣な眼差しで熱心の実習に取り組んでおられました。

（まとめ）

救急蘇生法は、2005年に国際的に大改訂が行なわれ、その中で特に強調されている点は「効果的な心臓マッサージを絶え間なく行なうこと」です。実際には、手順や手技の正確さよりも急変した傷病者の命を救うために迅速にこの処置を始めることが大切です。万が一の時に、勇気を持って救急蘇生法ができるように、反復して実習することが重要ではないかと思いました。

（池田泰章）

報 告 学 術 部

◎第3回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会

9月2日(土) (岐阜県)

◎マウスガードへの誘い

9月9日(土) (県総合福祉会館)

◎学術部正・副委員長会

9月13日(水), 20日(水), 30日(土), 10月10日(火)

報告・協議

1. 「マウスガードへの誘い・パートII」について

2. 救急蘇生講習会について

3. 中国地区歯科医学大会（鳥取県）出席者について

◎救急蘇生講習班班会

9月30日(土), 10月12日(木)

1. 平成18年度救急蘇生講習会リハーサルの件

◎第2回学術部全体委員会

10月2日(月)

1. 代議員会の報告

2. 「マウスガードへの誘い・パートII」のリハーサル

◎マウスガードへの誘い・パートII

10月14日(土), 15日(日)

(津山歯科医師会館, 岡山県歯科医師会館, 倉敷歯科医師会館)

(詳細は別掲)

◎平成18年度岡山県歯科医師会救急蘇生講習会

10月22日(日) (岡山県歯科医師会館)

(詳細は別掲)

◎平成18年度歯科技工士試験委員会

10月27日(金) (丸の内会館)

◎平成18年度中国地区歯科医師会学術担当者連絡協議会

10月28日(土) (鳥取県)

◎第57回中国地区歯科医学大会

10月28日(土), 29日(日) (鳥取県)

(詳細は別掲)

岡山県・岡山市歯科医師会共催 第186回岡山市歯科医師会臨床放談会報告

去る11月12日(日)に標記講習会が本会との共催で会館5F大ホールにて開催された。東京都開業の小林和一先生と同医院歯科衛生士の鍵和田優佳里先生に「歯周病と補綴処置」と題して、小林歯科医院での歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の三位一体の歯周治療への取り組みについて講演して戴いたので、以下報告いたします。



■ 講演要旨 ■

小林先生は歯周病の治療も炎症の除去からさらに審美性の追求と快適性の獲得へと発展し、患者さんの高まる要求に応えなければならないと強調された。

まず、原因と現状を的確に説明することによって、患者さん自身のモチベーションを高め、イニシャルプレパレーションの期間にコミュニケーションを構築することがその後の歯周外科や補綴処置を行っていく上で大切である。



検査結果から、浮腫性の歯肉・水平性の骨吸収は歯科衛生士のスケーリング、ルートプレーニングにより改善をはかり、一方、線維性の歯肉・垂直性の骨欠損に対しては歯科医師による歯周外科、再生療法、自然挺出、エクストリュージョン等で骨の添加や活性化を促し水平化をはかる。

前歯部では、審美性の面でスキヤロップがきれいに整うこととブラックトライアングルを避けるために、下部鼓形空隙に歯肉がおさまることを目標にする。

歯周外科の際、歯肉退縮を防ぐために歯間乳頭の保存に努め、さらに歯肉を伸張するような環境を作る。

また、メンテナンスのことを考慮して歯間部はキュレットが入りやすいような形態にし、骨縁上に幅1mm以上の結合組織性の付着が得られるようにすることも重要である。最終的な形態や色調は歯科技工士の技量に委ねられるが、快適性も兼ねた補綴物となるように十分な連携を取る。

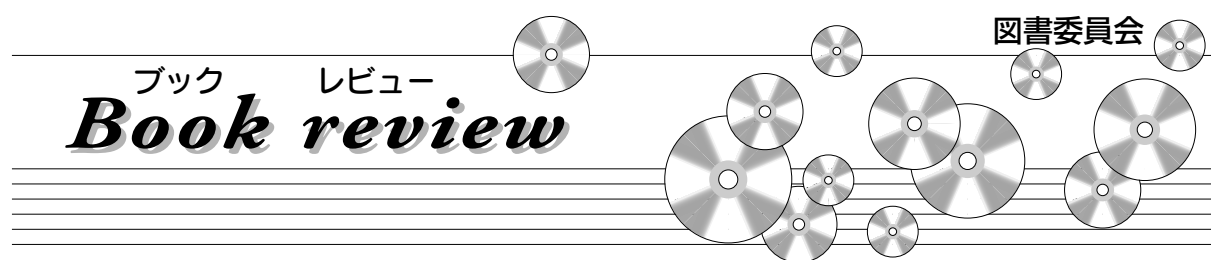
一方、歯科衛生士の立場から鍵和田先生は、まず正確な歯周組織検査を行なうこと、特にプロービング時の出血は重要で、炎症の活動部位を知ることができ、治療の判定基準になると強調された。基本治療においては、水平性の骨吸収とポケットが6mm以下の状態は歯科衛生士が治せる範囲であり、

患者さんにとっても優しい歯周治療となる。

また、メンテナンスでは患者さんから長期間に亘った信頼を得るためには的確な情報、温かい態度と厳しい目、将来の治療についての説明が大切であるとされた。

以上、歯周病治療に三位一体となって取り組むことと患者さんとの長期に亘った信頼関係を保つことが医院の活性化に繋がるという考え方は明日からの臨床に大いに参考になったのではないのでしょうか。

(岡崎 景)



口腔内装置作製のための サーモフォーミング徹底活用

著 竹内正敏 都賀谷紀宏 (砂書房)

最近、硬質素材、軟質素材ともその用途が拡大して、多くのオーラルアプライアンス（口腔内可徹性装置）の作製にもサーモフォーミングが用いられています。本書第2・3章では、先ずプラスチックを歯科材料として使用するにあたり必要となる科学的な基礎知識について説明され、第4・5章ではメカニズムを工学的見地からわかりやすく解説されています。第6章では、近年、急に拡大してきた歯科臨床への応用について、最新の情報をまじえて詳しく書かれています。サーモフォーミングは上手に使うことにより、診療や技工の一層のレベルアップや時間の節約を可能にします。これから機器を購入しようと考えておられる方、すでに機器を持っておられる方に役立つ一冊ではないでしょうか。

* 年末年始の休館のお知らせ *

休館日 平成18年12月29日(金)～平成19年1月3日(水)

例年の通り、本会会館を上記期間中、休館させていただきます。

ご迷惑をおかけいたしますがご了承下さいますようお願い致します。

平成18年度 都道府県歯科医師会医療管理担当理事連絡協議会報告

標記連絡協議会が、平成18年10月27日(金)、午後1時30分より新日本歯科医師会館において開催されました。

1. 講演

「第5次医療法改正等について」 厚生労働省医政局総務課長 二川一男

- ・医療機能情報の公表制度の創設（医療法、薬事法）
- ・広告規制の見直しによる広告可能な事項の拡大（医療法）
- ・行政処分を受けた医師等に対する再教育の義務付け（医師法等）
- ・医療法人制度の改革と体系について
- ・医療機関の管理者に対する医療安全確保の体制確保の義務付け（医療法）
- ・医療安全支援センターの制度化（医療法）

2. 報告

太田謙司日歯常務理事が、平成19年4月から施行される第5次医療法改正に対する対応の現況、今後の方針、そして歯科医師養成数の削減に関する文部科学大臣と厚生労働大臣間の確認書などについて報告した。

(1)医療管理委員会

- ・経費削減モデルアンケートの実施について
- ・医療情報などのガイドラインについて

(2)税務委員会

- ・医療法人制度の改革に伴う税率について

(3)歯科医療安全対策委員会

- ・歯科医療安全対策ネットワーク事業について
- ・歯科診療所医療安全管理指針の作製について

第5次医療法改正に対応する歯科診療所医療安全管理指針は日歯雑誌平成19年2月号に掲載予定で準備を進めている。

- ・院内感染防止対策について

医療広告について再認識を！！

医療法により、広告可能とされる事項以外の広告は禁止されています。違反した場合、6ヵ月以下の懲役または30万円以下の罰金となりますので、十分にご留意下さい。

広告可能な事項：主なもの

- ・ 病院または診療所の名称，電話番号，所在地
- ・ 診療科名：歯科，小児歯科，矯正歯科，歯科口腔外科のみ
- ・ 常時診療に従事する歯科医師の氏名
- ・ 診療日または診療時間
- ・ 保険医療機関である旨
- ・ 学会専門医（認定医）：口腔外科専門医，歯周病専門医，歯科麻酔専門医，小児歯科専門医のみ
- ・ ホームページアドレス，メールアドレス

広告が禁止されている事項：広告作成時，良く確認しましょう！

- ・ キャッチコピー，患者誘引につながる表現
- ・ 歯科医師，スタッフの写真
- ・ ○○研究所併設等の記載
- ・ 医院，診療所の写真，イラスト
- ・ 保険診療以外の治療法の実施告知：レーザー治療，ホワイトニング，インプラント治療（相談）等
- ・ ○○相談会開催等の記載
- ・ 非常勤の専門医が診療に従事している告知
- ・ 手術の成功率○○％等の治療成績に関する記載
- ・ 所属学会の告知：広告が認められた4学会専門医を除く
- ・ 院内感染対策の実施の告知

平成19年4月 第5次医療法改正：医療広告を含む情報提供の仕組みの変更！

第5次医療法改正では，大幅な医療法の見直しが行われる予定です。改正の内容が分かり次第，今年度中にお知らせいたします。

医療管理3年計画“桃太郎プラン”講演会予告と 実践モニターの募集について <Part II>

～考え・実践しよう！ 患者満足と医院経営業績の向上～

“桃太郎プラン2006”講演会

■日 時：平成19年2月24日(土)、午後6時～午後8時30分

■会 場：岡山県歯科医師会館5階 大ホール

■講 演：

医療管理3年計画 “桃太郎プラン” に期待すること

◆高津 茂樹先生

(横浜市開業、前日本歯科医師会常務理事 医療管理担当、日本医療管理学会会長)

これからの歯科医院経営はどうあるべきかー経営理論から学ぶことー

◆永山 正人先生 (札幌市開業、日本医療管理学会副会長)



“桃太郎プラン2006”実践モニターの募集

医院経営を見直すチャンス

“桃太郎プラン2006”講演会に参加して頂き、そして永山 正人先生が提案する“院長（管理者）行動モデル”を医院経営の中で自ら実践していただく実践モニターを募ります。

実践期間中、永山先生よりコンサルタント、アドバイスなどを受けることができます。そして、最終的にその成果の評価をして頂きます。

実践モニターの申し込みは？

会報来年2月号でお知らせする予定です。実践参加により得られる成果は、医院経営業績向上に繋がるものと思いますので、奮ってお申し込み下さい。

介護予防・新予防給付における『口腔関連項目の参考例』リーフレットを他職能団体との連携に役立つように作成いたしました。今般、県医師会のご協力にて、『岡山県医師会報第1201号』に、下の図をカラー版にて付録とし約3,500県医師会会員へ、送付致しましたのでご報告いたします。

介護予防・基本健康診査時の口腔関連項目について

I・基本チェックリスト

No.	質問項目	回答 (いずれかに○を お付け下さい)	
1	バスや電車で1人で外出していますか	0. はい	1. いいえ
2	日用品の買物をしていますか	0. はい	1. いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ
4	友人の家に訪ねていますか	0. はい	1. いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ
10	半年前に比べて固い物が食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ
11	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ
12	口の渇きが気になりますか	1. はい	0. いいえ
13	身長 c m 体重 k g (BMI =) (注)		
14	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ
15	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ
16	口の渇きが気になりますか	1. はい	0. いいえ
17	週に1回以上は外出していますか	0. はい	1. いいえ
18	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ
19	周知の人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1. はい	0. いいえ
20	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい	1. いいえ
21	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	0. いいえ
22	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ
23	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ
24	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1. はい	0. いいえ

13・半年前に比べて固い物が食べにくくなりましたか

14・お茶や汁物等でむせることがありますか

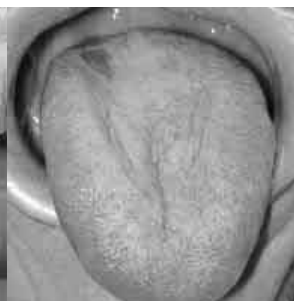
15・口の渇きが気になりますか

II・＜基本健康診査（介護予防健診）＞ 理学的検査

視診により口腔内の衛生状態に問題を確認
(歯や義歯の汚れ、舌苔の有無)



著しく歯垢の付着した歯（一例）



舌苔の付着（一例）



デンチャーブラークの付着（一例）

反復唾液嚥下テスト(RSST)が3回未満

30秒間で可能な空嚥下の回数を診査する。
触診で嚥下時の喉頭挙上を確認しながら行う。

特定高齢者施策における「口腔機能の向上」プログラムに
参加したほうが望ましい方は上記の5項目で判定されます

社)岡山県歯科医師会



岡山県医師会報 第1201号 付録 平成18年11月10日発行

※リーフレット原本は、カラー版で県歯ホームページの会員ページ、各部フォルダ公衆衛生部
【高齢者介護書庫】に保存していますので、ご活用下さい。

第70回 全国学校歯科保健研究大会報告



さる10月19・20日、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル（千葉県舞浜）において上記大会が開催されました。酒井会長はじめ、大嶋専務、黒住日学歯常務理事、平岩理事、中里が参加しました。開会式・表彰式において、大塚 彰先生（高梁支部）が永年に亙る功績に対し文部科学大臣表彰を受賞されました。また、昨年の第69回大会の本県における開催に対し、日本学校歯科医会より感謝状が酒井会長に手渡されました。



開催要項より大会の主題、趣旨を掲載致します。

1. 主 題 「歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して」

—生きる力をはぐくむ学校歯科保健…今、学校歯科から「食」を考える—

2. 趣 旨 「歯・口の健康づくり」は、心も身体も相互に関連する総合的な健康づくりの一環であり、そして、教育活動に位置づけされた学校における保健活動の本質を指向するものである。「生涯にわたる健康づくり」あるいは「生涯にわたるQOLの向上」の基礎を培うべき学校保健においては、家庭との連携によって、子ども達に自律的な健康づくりの知識と態度・習慣そして意欲をはぐくむ必要がある。したがって、学校歯科保健活動を通じて、子

ども達にアプローチすること、そのこと自体が、あるいはその過程そのものが「生きる力」のはぐくみになっていると言える。

さらに、ヘルスプロモーションの基本的概念の中にあるように「健康はよりよく生きる、自己実現を図るための資源」であるから、学校歯科保健活動の目標設定においても、子ども達が「よりよく生きる」あるいは「自己実現」のための質的魅力と展開の場そして教育の在り方を総合的に考える必要がある。

わたし達は、「歯・口の健康づくり」が、子ども達の将来のために包括的かつ総合的な展開を目指す必要があることから本テーマを設定した。

大会に関する詳しい内容は、資料がありますので事務局までお問い合わせ下さい。

(中里健一)

第55回日本口腔衛生学会・総会報告

第55回日本口腔衛生学会・総会は、「口腔保険のEvidence-based Medicine (EBM) を再考する」をメインテーマとして10月6日～8日、大阪府豊中市千里ライフサイエンスセンターで開催され、平岩理事とともに参加して来ました。3日間で、森本 兼曩先生の特別講演「平均値から個体差の医学へ」教育講演2題、佐藤 俊哉先生による「EBMと医療統計」、中村 正和先生による「エビデンスに基づいた禁煙治療の方法と実際」シンポジウム6題と市民公開シンポジウム「延ばそう健康寿命, お口の健康で」、一般講演32題、ポスター発表167題が行われました。また自由集会は4題（「健康日本21の歯科保険目標達成のために」、「健康日本21のたばこ対策の推進を考える」、「歯科衛生士の研究活動の推進を考える」、「新たな歯科保険目標に向けてのフッ化物応用の推進」）ありました。それぞれの講演を通してエビデンスの重要性を確認させられた学会だったと思います。

(蔵内 眞)

文化部 レクリエーション大会報告

麻雀

麻雀の部は、10月21日（土）午後6時半より10時半まで岡山市南中央町の「竹屋クラブ」にて12名の参加を得て、半荘4回の総得点で競いました。

序盤から、ハネ満連発の山崎先生が終始安定した戦いを繰り広げ猛追の藤井・安井両先生を抑えて、初参加初優勝の快挙を成し遂げました。

（浅野 透）

優勝 山崎 秀利
準優勝 藤井 龍平
3 位 安井 正純



囲碁

開催日時 平成18年10月29日（日） AM10:00～PM5:00

開催場所 岡山県歯科医師会館 3 階

年齢を重ねる度に1年が過ぎるのを早く感じるものだナー。同好の士も年々減ってくる等、色々心配をしながら、1年ぶりの再会を喜び合いました。時間の経過も忘れゲームに没頭、楽しく友好的に時間を過ごせた事を有難く思います。

成績は次の通りでした。

優勝	赤沢 莊之	六段	5 勝
2 位	西井 一郎	五段	3 勝 2 敗
3 位	滝 正典	三段	3 勝 2 敗
4 位	細川 浩成	六段	2 勝 3 敗
5 位	井上 亘	二段	1 勝 4 敗
6 位	門野 俊三	五段	1 勝 4 敗



最後に囲碁を一生最高の伴侶として愛し、元気で来年の再会を約束して別れた。

（細川浩成）

お知らせ

11月19日(日)開催予定のボウリング大会は、参加希望者が少なかったため中止とさせていただきます。

ゴルフ



11月5日（日）毎年恒例のゴルフ大会を山陽ゴルフクラブにて開催いたしました。当日は爽やかな秋晴れのもと、黒住副会長の開会挨拶、ルール説明、集合写真撮影の後、31名8組に別れて競技を行いました。レギュラーティー使用で各ホール非常に長く感じましたが、そこは県下から集まったつわもの、好成績を出された方も多く好天の一日を楽しく過ごす事ができたと思います。個人的

には自分の背丈よりも高いバンカーで記録的な大たたきをするという珍事も起こしましたが、和気藹々と楽しくプレーをさせていただきました。来年は岡山県歯科医師会創立百周年ということで、より規模の大きな大会にしようと思っております。多くのゴルフ愛好家の方々の参加をお待ちしております。

（理事 宮地芳之）

結果報告

		OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優 勝	貞森 平樹	40	45	85	15.6	69.4
準優勝	大西 雄三	40	43	83	10.8	72.2
三 位	平 和義	52	41	93	20.4	72.6
ベスグロ	大西 雄三	40	43	83		
	藤田 哲二	43	40	83		
	石戸善一郎	41	42	83		

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

○印 開館予定

×印 閉館予定

	3日(日)	10日(日)	17日(日)	23日(祝・土)	24日(日)	29日～31日
12月	×	×	×	×	×	×
	1日～3日	7日(日)	8日(祝・月)	14日(日)	21日(日)	28日(日)
1月	×	×	×	×	×	×

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問合せ下さい。

倉敷・児島・玉島・都窪・吉備支部

第7回 介護保険セミナー 口腔機能向上サービスの定着をめざして

本年度から、介護予防事業のひとつとして「口腔機能の向上サービス」がスタートしましたが、意気込み通りには行かず空回りしているのが現状ではないかと思えます。しかし、老化と廃用の悪循環を断ち切るためには、「口腔機能の向上サービス」の提供は不可欠であり、そのために私達は何をなすべきかについての回答が、今回のセミナーで得られるものと確信しております。

本年度は、新予防給付の創設に深く関わってこられたお二人の先生をお迎えし、下記の要領で講演会を開催いたします。新年早々でご多用のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

記

＊日 時 平成19年1月14日(日) 午前9時30分～午後12時30分

＊場 所 倉敷市立美術館（旧倉敷市役所）講堂（定員200名）
倉敷市中央2丁目6番1号

＊主 催 (社)倉敷歯科医師会、(社)児島歯科医師会、(社)玉島歯科医師会、
都窪歯科医師会、吉備歯科医師会(協) (後援) 倉敷市

＊参加費 無料

講演① 「口腔機能の向上サービスを地域で定着させるには…」

講師：平野浩彦先生 東京都老人医療センター歯科口腔外科医長

講演② 「介護予防における口腔機能向上の実際」

講師：関口晴子先生 東京都介護予防区市町村サポートセンター歯科衛生士

会場の都合上、席に限りがあります。参加ご希望の方は、お早目に下記あてにファクスにてお申し込み下さい。

申し込み・問い合わせ

倉敷歯科医師会 Fax 086-426-9200 Tel 086-422-2122

都窪支部

『 県 歯 支 部 訪 問 』



9月2日(土)県歯支部訪問がありました。

7:00より庄コミュニティーホールにて、酒井会長をはじめ、藤井副会長、黒住副会長、大嶋専務理事、西田常務理事、平岩理事、江口理事、宮地理事、竹下理事、東原理事、藤澤理事と多数の役員方にお越しいたき、まず小坂都窪支部長の挨拶で始まり酒井県歯会長にご挨拶をいただき、新執行部が発足して5ヶ月を振り返られ、

都窪の3名の理事の先生の頑張りにお褒めの言葉をいただき「執行部がもっと成長する為に良い意味での批判をぜひしていただきたい」とご挨拶されました。

その後、各役員に一言ずつご挨拶をいただき、場所を『庄屋』に移動し7時45分頃から宴会が開始されました。小林理事、西岡理事も公用で遅れて参加され、今までの支部の懇親会でもこれほどの盛り上がりはないほど、楽しくよく飲んだ県歯支部訪問でした。(中田 有)

「第6回つくば・お口の健康8020フェア (口からはじまる全身の健康)」開催される



10月1日(日)岡山テルサにて、県歯ランチプロジェクト(社)岡山県歯科医師会・都窪歯科医師会主催による「第6回つくば・お口の健康8020フェア」が開催されました。

ホールでは、8020・7025表彰の後、真鍋康二先生(都窪医師会)による口腔内細菌と生活習慣病のについての講演、山本道代先生(都窪支部)による口からはじまる介護予防について

臨床実地ケーススタディを交えた講演会が行われました。また、クリスタルホールやロビーでは、都窪支部エリアの小学生による図画展示や柴田先生(倉敷支部)による手品、極真空手演武、バルーンショー、医師会による医療相談、看護師会による健康相談などが行われ、約2,000人の入場者が訪れ盛況のうちに終了いたしました。(東原慶和)



異彩なこの人

妹尾昌美先生（高梁支部）

高梁支部からは妹尾昌美先生を紹介させていただきます。先生は長年、川柳をたしなまれ、大の旅好きということもあって、最近はお嬢様の嫁ぎ先でもある東京近辺での芝居や落語をおおいに楽しまれているそうです。そんな通な先生に今回は、忠臣蔵の世界に案内して頂こうと思います。

（モニター 杉山広治）

「江戸東京散歩」

妹尾昌美

娘が学生時代から23年、結婚後も東京で世帯を持つ関係で上京も百回を越すと思います。少年時代から地理歴史が好きで江戸切絵図と現代区地図を重ねて予習し東京散歩を楽しんで居ます。今回は秋天と体調に恵まれ、四度目の赤穂浪士吉良邸本懐を遂げての凱旋の道筋を辿りました。歩きは健康によし、観光案内には載っていない名跡の発見があり楽しいものです。今回も予習のお陰で平賀源内のエレキテレ実験地跡、日本地理の先駆者伊能忠敬、浮世絵写楽終焉地、東京に残る数少ない江戸期の富士塚等義士とは関係ない新発見がありました。スタートは松坂町公園、ここは旧吉良邸の一部で二千数百坪が今は30坪程度の記念園となり白壁に囲まれた園内には「首洗い井戸」清水一学、小林平八郎を含む20名の犠牲となった家臣の碑あり。隣りの回向院は本懐を遂げた血塗れの浪士の風体に驚き僧は入山拒否。一行隅田川東岸を永代橋へ。家臣大高源吾は脇屋新兵衛と名乗り吉良の茶会情報も入手。酒と俳句を愛する気品ある武士だったらしい。俳友であった初代乳熊屋の竹口作兵衛の棟上げにばったり出逢う。両者びっくり源吾これこれしかじか討入り成功をのべると作兵衛感喜のお祝いの言葉を浪士に捧げ棟上げ現場に招き入れ甘酒粥で接待労をねぎらう。源吾は所望された棟札と看板に揮毫して一路高輪へ、この美談歴史書にも義士外伝にもない名場面で当日棟上げとなれば大願成就是偶然とは言え大安吉日に間違いなし。隅田川を渡り左折すれば主君浅野藩邸も近い。現聖路加病院敷地が邸跡。解説付きの大きな記念碑あり。一行ここで上野介の首を差し出し「地神御たむけ」仇討ち成就の儀式を行う。これより東海道へ。右後方には旧田村邸浅野内匠頭終焉の地あり。ゴールは三百年線香の煙絶えぬ泉岳寺。十代から七十代までの家臣の墓が主君を囲む。いつものボランティアの人から吉良邸から泉岳寺十一キロを三時間の凱旋との事、小生還暦の時に手ぶらウェストバックで三時間であった。刀槍負傷者を抱えての中、本懐を遂げた意気揚揚の凱旋だったに違いない。線香をたむけ帰路は地下鉄のお世話に。年齢を感じた半

日、還暦からの十年四時間を要し、疲れを感じる齢には勝てぬと実感。先週は明治座で「女の忠臣蔵」今週は三越劇場の「その前夜」と観劇忠臣蔵漬けの十日間でした。翌日は疲れ休みの一日。250年の老舗「玉ひで」にて親子丼の昼食。玉ひではシャモ鍋屋で明治に入って当店が親子丼発祥の地。食後上野「鈴本」へ落語昼席を聞き、跳ねたらすぐ晩酌の「鍵屋」へ。ここは江戸期から残る唯一の居酒屋。屋号は案の定伊賀上野出身とか鍵屋の辻から頂いたらしい。最後に主君浅野内匠頭辞世の一首、家臣大高源吾の辞世の一句、小生の駄句をもって筆を置きます。会員の先生方のご繁栄とご健勝を合わせてお祈りします。

〈浅野内匠頭辞世の一首〉

風さそう花よりもなお我はまた
春の名残りを如何とかせん

〈大高源吾の辞世の一句〉

梅で呑む 茶屋もあるべし 死出の旅

〈迷川柳 「今日この頃」 妹尾昌美〉

一流のホテルで受ける三流校
山ほどの菓飲もうか捨てようか
30品食べて痩せよと医者の指示
ヨン様に逢えて化粧の乗りがよい
国際語津波談合天下り
対策を練るのは事故が起きてから
飼い主もペットも同じ習慣病
何もかも足りて子供が生まれない
内外の喧噪知らぬ九段坂
女性みな痩せて美人になれるなら



浅野内匠頭邸跡



(高輪) 泉岳寺



現 永大寺



江戸からの居酒屋 （東京唯一）鍵屋



「赤穂義士休息の地」碑



慶応発祥碑



大石蔵助良雄（泉岳寺）



旧吉良上野介良央邸跡（松坂町公園）



250年の歴史ある
シャモ鍋屋
親子井発祥の店

「休日の過ごし方」

都窪支部 赤 木 毅

開業してから一年と半年余りが経ちました。この間、休日といえば診療室の整理や消耗品の購入など、日々の診療中にできないことなどをしていました。そのため、気がつけばあっという間に一日が終わってしまっていました。それでも連休にはなんとか家族サービスをとおり、盆や正月などまとまった休日が取れる時には家族で旅行（ドライブ）に出かけるようにしています。とはいっても、子供がやっと二歳になったばかりなので主に車で行ける範囲の小旅行です。もちろん海外ではありません。

本屋で立ち読みしたガイドブックやインターネットなどであらかじめ下調べをして知識を詰め込んでおいて、必要最小限のものだけをトランクに詰め込んでいざ出発です。あとはカーナビに目的地を設定して誘導してもらいます。途中サービスエリアで休憩がてら食事を摂ったり飲み物を買ったり、高速をのんびりドライブを楽しんでいます。以前は乗っていた車のせいもありますが、持てるドライビングテクニックを駆使して、目的地までいかに早く到着するかを考えて運転していました。いまそのような運転をすると家族からはブーイングが絶えませんので、落ち着いて安全運転に徹しております。

最近では愛媛の道後温泉に行ってきました。学生の頃に友人たちと訪れて以来になります。あの頃は若さと元気だけは有り余っていましたので、四人で車中泊をしたりしても平気でした。さすがに今となつてはよい思い出ですが、以前に比べると元気が幾分減ってきているようです。目的地に到着してもあまり出歩くようなことは無く、旅館でのんびりゴロゴロしております。温泉にゆっくりつかって郷土料理に舌鼓を打つ…といきたいところですが、子供が一緒なのでなかなか目が離せません。寝かしつけるまでがこれまた一苦勞であります。

旅行といっても長居はできませんのでせいぜい一泊までです。ですから次の日には帰る準備をしなければなりません。チェックアウトを済ませて、これまたカーナビで目的地周辺のレジャー施設を検索しま



す。日頃はなかなか一緒に遊ぶことの無い子供としばし触れ合ってから、後は帰宅の途につきます。よく考えてみれば疲れに行っているような気もしますが、少しだけ日常から離れて気分転換をしに行っていると思えば多少は気が休まります。

もうすぐ年末年始の休暇に入ります。どこへ行くのにも人は多いですが、せっかくの休日なのでまた安全運転で出かける予定です。

次回は若狭 亨先生（都窪支部）をご紹介します。

第2回全日本歯科医師剣道選手権大会(第7回全歯剣道大会)

2006年10月15日(日)東京都品川区旗の台の昭和大学50周年記念館に於いて剣道の段別個人戦が開催された。公開演武(日本剣道形・夢想神伝流居合)の後、剣道七段の部、五、六段の部、四段以下の部に分かれて行われた。岡山県からは、五、六段の部に秋田和俊(岡山支部)、四段以下の部に石津裕識(都窪支部)がそれぞれの段に出場した。試合結果は以下のとおりで、石津選手が見事優勝を飾った。一方、秋田選手は準決勝で延長の末、敗戦を喫し3位に留まった。試合後、参加者全員により合同稽古が行われ、思い思いの汗を流し、親睦を深め、閉会式に入った。表彰式の後、大会会長より試合前における選手の礼節、相互の態度について総評が述べられ、大会の幕を閉じた。次期同大会は来年秋大阪で行われる予定ですので、奮ってご参加ください。(秋田和俊)

四段以下の部

優勝 石津裕識(岡山)

2位 湯浅算章(東京)

3位 鬼頭功典(愛知)



五段・六段の部

優勝 岡本 徹(東京)

2位 市丸英二(佐賀)

3位 秋田和俊(岡山)

3位 中澤 央(茨城)



岡山県歯科衛生士会から

日本歯科衛生学会第1回学術大会開催される！

(社)日本歯科衛生士会は本年で創立50周年・社団設立40周年を迎えております。そして本年4月に、現在までの学術事業を母体として「日本歯科衛生学会」を発足し、去る11月23日(木)・24日(金)に東京国際フォーラムにて、第1回学術大会が開催されました。

「歯科衛生業務の向上を目指して—これからの臨床教育を考える」・「高齢社会の健康とQOLを支える歯科衛生士の役割」の2つのメインシンポジウムを中心に多くの演題発表とともに岡山県歯科衛生士会・会員渡辺朱里さんによるポスター発表もありました。

この学会設立を機に、わたくしたち歯科衛生士ひとりひとりが、日々の地道な日常業務をただこなすだけでなく、常に学ぶ・研究するという姿勢を持ち、この学会活動を通して根拠のある歯科衛生業務の向上・実践へとつなげていくことが国民の健康増進に貢献できることと思います。

日々業務に従事している本会会員の皆様はもとより、未入会の歯科衛生士の方々も是非本会会員になられ、日々の研究や現場でのご活躍の成果をぜひ第2回・第3回と続くこの学会で発表していただくことを期待しております。

注*岡山県歯科衛生士会に入会されますと、同時に日本歯科衛生学会員に登録されます。

<お問い合わせ先>

(社)岡山県歯科衛生士会

F A X (086) 224-0039

E-mail momo.odha@gamma.ocn.ne.jp



訃

報



故 永守 毅 先生

享年90才（平成18年 9 月16日ご逝去）

岡山市西大寺中 2 丁目 8 - 15



故 横上 英雄 先生

享年87才（平成18年 9 月30日ご逝去）

真庭市上中津井612



故 木村 知之 先生

享年51才（平成18年10月 9 日ご逝去）

岡山市青江 1 丁目17 - 3

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

会 員 異 動

10月末日現在 正会員数1,049名

◎新入会

村上 ちはる 正会員 P65 真庭支部

（診）〒719-3144

真庭市落合垂水250 - 2

ちはる歯科

TEL (0867) 52-0777

FAX (0867) 52-0205



◎死亡

木村 知之 正会員 P11 岡山支部

〒700-0941 岡山市青江 1 丁目17 - 3

永守 毅 正会員 P17 岡山支部

〒704-8116 岡山市西大寺中 2 丁目 8 - 15

横上 英雄 正会員 P61 高梁支部

〒716-1422 真庭市上中津井612

*会報11月号掲載の先生のお名前が違っておりました。
 ここにお詫びし、訂正させていただきます。

◎番号の新設・変更

小山 茂樹 正会員 P46 瀬戸内支部

[新] (自) FAX (0869) 26-6829

(P = 会員名簿のページ)

事務局だより

12月の収納金

1. 本 会

- (1) 診療報酬割会費（社保、国保9月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{2.8}{1000}$ を社保分から控除）

2. 全国歯科医師国保組合

- (1) 収入割、均等割保険料調定額
 (2) 収入割保険料（平成17年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$ ）

3. 日本歯科医師会

- (1) 年金拠出金（1月分）

10月 会の動き

- | | | | |
|-----|--|-----|---|
| 1日 | 文化事業部会レクリエーション「釣り」
都窪支部「お口の健康8020フェア」 | 11日 | 都道府県歯科医師会地域保健・産業保健担当
理事連絡協議会（於東京）
百周年記念誌・沿革誌（史）小委員会 |
| 2日 | 編集委員会
学術部委員会
8020推進特別事業打合せ会 | 12日 | 理事会
コムパスとの面会
救急蘇生講習会リハーサル
岡山県歯科保健優良校表彰等事前審査会
広報部会長インタビュー |
| 3日 | 百周年記念誌・沿革誌（史）小委員会
県健康対策課と打合せ（8020推進特別事業） | 13日 | 都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協
議会（於東京）
本会学院規則・規程集の改定委員会 |
| 4日 | テレビせとうち・クリエイトと打合せ
総務部調査事業部会委員会
百周年記念事業小委員会
百周年記念誌・沿革誌（史）小委員会 | 14日 | 中国地区歯科医師会親睦野球大会前夜祭（於
米子）
「マウスガードへの誘い・パートⅡ」（於津
山、岡山）
社会保障研究会21第8回時局講演会 |
| 5日 | 理事会
常務理事会
平成18年10月保険医療関係機関連絡会議
警察歯科医会ブロック別研修会（於倉敷） | 15日 | 中国地区歯科医師会親睦野球大会（於米子）
「マウスガードへの誘い・パートⅡ」（於倉
敷、岡山） |
| 6日 | 第55回日本口腔衛生学会総会
（～8日 於大阪）
渉外部委員会 | 16日 | 本会学院移動教務会議 |
| 7日 | 社会保険部検討委員会 | 17日 | 編集委員会 |
| 10日 | 編集委員会
岡山県介護保険関連団体協議会連絡会議
医療管理部正・副委員長会
学術部正・副委員長会
国保組合第3回理事会
本会学院創立50周年記念式典準備委員会 | 18日 | 日本学校歯科医会全国大会懇親会（於千葉）
警察歯科医会ブロック別研修会（岡山）
本会学院記念誌編纂委員会 |
| | | 19日 | 第70回全国学校歯科保健研究大会 |

- (～20日 於千葉)
編集委員会
警察歯科医会ブロック別研修会(北部地区)
- 20日 百周年記念事業小委員会(於倉敷)
- 21日 新入会員社保研修会
文化事業部会レクリエーション大会「麻雀」
- 22日 救急蘇生講習会
- 23日 本会学院入試選考委員会
会務打合せ
- 24日 日本学校歯科医会「学校歯科医の活動指針」
改訂版打合せ会
歯科衛生士会と面会
- 25日 平成18年度広島国税局管内税務指導者協議会
(於広島)
岡山大学氏家教授と面会
- 26日 理事会
警察歯科医会ブロック別研修会(井笠地区)
日本歯科医師会理事会(於東京)
岡山県歯科保健優良校表彰等審査会
岡山大学歯学部予防歯科 山本先生と面会
百周年記念誌・沿革誌(史)小委員会
- 27日 都道府県歯科医師会医療管理担当理事連絡協議会
歯科技工試験委員会
- 28日 平成18年度中国地区歯科医師会第2回役員連絡協議会(於鳥取)
平成18年度中国地区歯科医師会(広報・社会保険・学術・医療管理)担当者連絡協議会(於鳥取)
京都府歯科医師会創立百周年記念式典並びに祝賀会(於京都)
医療・福祉リーガルリスク予防研究センター設立記念シンポジウム
- 29日 第57回中国地区歯科医学大会(於鳥取)
文化事業部会レクリエーション大会「囲碁」
第33回笠岡歯科技工専門学校歯科技工祭
岡山歯科技工専門学校「岡技祭」
- 30日 平成18年度岡山県保健衛生功労者表彰式
百周年記念事業小委員会
- 31日 岡山地方社会保険医療協議会
老人クラブ女性リーダー研修会打合せ(於倉敷)

12月・1月 本会の予定

- 12月 1日 編集委員会
都道府県歯科医師会事務長事務連絡会(於東京)
- 2日 大阪歯科大学岡山県同窓会平成18年度懇親会
- 5日 本会学院第4回記念誌編纂委員会
- 7日 理事会
- 8日 井原支部平成18年度総会, 忘年会
- 9日 児島歯科医師会忘年会
都窪歯科医師会忘年会
- 12日 編集委員会
- 13日 日本学校歯科医会理事会
- 14日 理事会
岡山県学校歯科保健研修会
- 16日 本会・関連団体役員合同懇談会
- 18日 支払基金幹事会
- 19日 編集委員会
- 21日 理事会
編集委員会
- 28日 理事会
- 1月 11日 真庭支部支部会・新年会
- 13日 新見支部新年会
- 14日 玉野市歯科医師会新年会

12月・1月 支部の予定

12月 1日	児島支部理事会	26日	岡山支部第18回理事会
3日	瀬戸内支部「健康フェスタ」	1月 4日	津山支部定例会・新年互例会
6日	真庭支部理事会	9日	岡山支部第19回理事会
7日	津山支部定例会	10日	玉野支部理事会
	小田支部勉強会	11日	玉島支部役員会
8日	井原支部平成18年度総会・忘年会		真庭支部支部会・新年会
9日	児島支部忘年会	12日	児島支部理事会
	都窪支部忘年会	13日	瀬戸内支部新年会
	高梁支部忘年会		小田支部支部会
12日	岡山支部第17回理事会		新見支部新年会
	新見支部理事会	14日	倉敷支部「第7回介護保険セミナー」
13日	岡山支部忘年会		玉野支部新年会
	玉野支部理事会	23日	岡山支部第20回理事会
14日	玉島支部役員会	24日	津山支部理事会
16日	玉野支部理事会	25日	勝・英支部定例会
	和気支部支部会・忘年会（予定）	27日	岡山支部食介護おかやま研究会第3回研究会
17日	岡山歯科技工専門学院第二次入学試験	28日	岡山歯科技工専門学院第三次入学試験
20日	津山支部理事会		
	小田支部勉強会		
22日	吉備支部理事会		

※ はこちら編集室 ※

金 田 「革ジャンスローライフ2」

貴哲 以前、異彩な人で紹介した革ジャンコレクションも順調に増え、20枚を数えるようになりました。しかし！あるコレクター本が出版され、周知の物となり価格が急騰（普通の物で30～60万、レア物で300万オーバー！完全に日本人がカモにされているようです。）その結果、eBayでも勝てず蒐集は、休止状態です。妻には、今こそ高値で売り抜ける！と言われる始末。ああ、津山のT先生のようになんでも鑑定団にでもでようかなあ！？

◎日立特約店



東和ハイシステム株式会社

本社◎岡山市今2丁目2-9

代表電話 086-243-3003

FAX 086-243-6838

ホームページ

<http://www.towa-hi-sys.co.jp/>

E-mail ths-info@towa-hi-sys.co.jp

親しまれ、愛され、信頼されて 日立とともに21世紀を躍進！

電子カルテシステムの研究開発一筋
お客様の**満足**が**私たちの喜び**

私たちは、

Best Solution Partner

○地域密着の完璧なサポート体制

サポートなくして販売なし、地域密着の「即行く、即やる」のサポート体制。特に電子カルテは即対応が絶対必要。

○全国で初めての互助会(HMG)

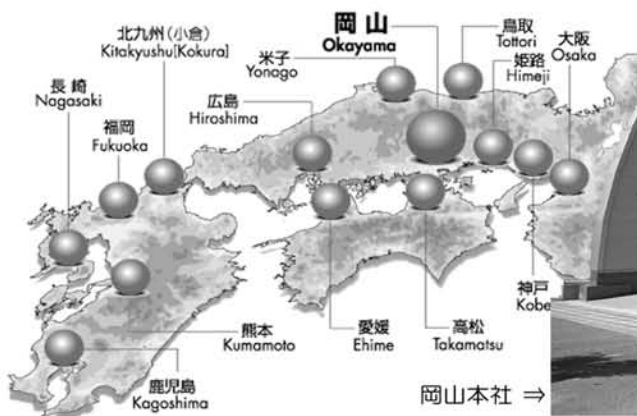
ユーザーの先生方が任意で設立された互助会組織です。少しでも安く、経費のかからない方法で電子カルテシステムを使っていくことを目的として設立されました。他社のように年額10万前後の保守料は当社には必要ありません。会の運営は先生方が行い、当社が事務局です。

○ご要望を、ソフト開発に活かす製販一体の専門企業

歯科システムの研究開発から販売・サポートまで一括で手がけ、使い勝手のよさを追求し、進化を続ける企業、それが当社です。

「即行く、即やる」信頼のサポート体制

日本一の電子カルテシステムの開発に挑戦。





NEW

新製品

WiseStaff4

歯科用総合コンピュータシステム

With Solutions of Extended problems

もっと先へ。未来が始まる予感

デンタルオフィスの未来を見つめて、WiseStaff-4が新しいステップを踏み出します。

オープンコンセプトが実現する、快適環境

- ❶ 「WiseStaff-4」では、各社デジタルX線システムとの連携や、他のアプリケーションソフトとの連携が更に拡張しました。
- ❷ クライアントに専用のコンピュータを必要とせず、OSがWindowsでもMacintoshであっても端末として使用できます。
お手持ちのコンピュータをクライアントにすれば、他のアプリケーションソフトと並行して使用でき、各医院のスタイルに合った快適環境を実現します。



NHOSA

株式会社 **ノーザ**

〒164-0011 東京都中野区中央1-21-4(ノーザビル)
TEL.03-5348-1881(代) FAX.03-5348-1885
<http://www.nhosa.com>

●北海道営業所 TEL.011-622-8041 FAX.011-622-8045
●茨城営業所 TEL.029-233-2882 FAX.029-233-2886
●埼玉営業所 TEL.048-645-2821 FAX.048-645-2830
●東京支店 TEL.03-5348-3381 FAX.03-5348-3385
●神奈川営業所 TEL.045-909-5781 FAX.045-909-5821

●名古屋支店 TEL.052-332-0327 FAX.052-332-1028
●大阪支店 TEL.06-6536-2187 FAX.06-6536-2287
●神戸営業所 TEL.078-367-5801 FAX.078-367-5805
●広島営業所 TEL.082-293-7618 FAX.082-293-7622
●福岡営業所 TEL.092-474-1777 FAX.092-474-4186

※記載内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。 ※Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。 ※Macintoshは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。 ※記載されている社名及び製品名は、各社の登録商標及び商品名です。 ※「WiseStaff」は、(株)ノーザの登録商標です。 ※接続メーカーにより操作性や内容及び制限が異なりますので、詳細は当社営業までお問い合わせ下さい。 ※OS及びハードに一部制限がありますので、詳細は当社営業までお問い合わせ下さい。

NHOSAN11222004

平成18年12月1日発行(毎月1日発行)
昭和42年4月3日 第三種郵便物認

岡歯会報

12月号

通巻第七一九号

定価一〇〇円

編集人 中村 慶男

発行人 酒井 昭則

発行所

岡山市石関町一―五
岡山県歯科医師会(購読料は年会
費に含まれる)

